

がん診療連携拠点病院等 現況報告書(新規指定推薦書・指定更新推薦書・指定類型変更推薦書)

令和4年9月1日時点について記載

✓ チェック欄に未入力なし

1. 推薦区分

現行の指定区分	地域がん診療連携拠点病院	✓
特定機能病院の承認	承認なし	(承認あり／承認なし)
臨床研究中核病院の承認	承認なし	(承認あり／承認なし)
新規・更新・報告の別	指定更新	(新規指定／指定更新／指定類型変更／現況報告) 指定期限年月日: 令和 5 年 3 月 31 日

※推薦時点で、拠点病院として指定を受けていない施設を推薦する場合は「新規指定」を選択してください。

※最新の指定における指定の有効期限の終了年月日を記入してください。

※推薦時点で、指定を受けている類型と同じ類型での指定を推薦する場合は「指定更新」を選択してください。

地域がん診療連携拠点病院(高度型)及び地域がん診療連携拠点病院(特例型)が地域がん診療連携拠点病院としての指定継続を希望する場合にも、「指定更新」を選択してください。

※推薦時点で地域がん診療病院の指定を受けている施設が、新たに地域がん診療連携拠点病院としての指定を希望する場合等、異なる類型の指定を希望する場合には、「指定類型変更」を選択してください。

※令和5年4月以降の指定更新を希望しない施設においては、「現況報告」を選択してください。

3. 病院概要

(1)病院名 (表紙シートの病院名を反映)	福岡県済生会福岡総合病院	16
よみがな	ふくおかせいけいひふくおかそうごうびょういん	17
(2)所在地等		18
郵便番号	〒 810-0001	19
住所	福岡県 福岡市中央区天神1-3-46	20
よみがな	ふくおかしちゅうおうくてんじん	21
電話番号(代表)	092-771-8151	22
FAX番号(代表)	092-716-0185	23
e-mail(代表)	kyomin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp	24
HPアドレス	https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp/	25
所属するがん医療圏	福岡・糸島	26
所属する2次医療圏	福岡・糸島	27

(3)病床数等

①病床数	373 床	32
総数	373 床	33
うち療養病床	0 床	34
うち一般病床	369 床	35
うち特別療養環境室としている病床	0 床	36
うち集中治療室(※特定集中治療室管理料を届け出ているものに限る)	4 床	37

(4)職員数

総職員数(事務職員含む、常勤職員の人数)	969 人	38
----------------------	-------	----

・常勤:原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。

①職種別内訳

※複数の資格を有する者は、主たる業務に係る職種についてのみ記載。	非常勤	常勤	42
	※(常勤換算)		43

医師	2.22 人	152 人	44
歯科医師	0 人	0 人	45
薬剤師	0 人	26 人	46
保健師	0 人	0 人	47
助産師	0 人	0 人	48
看護師	0 人	505 人	49
准看護師	0 人	0 人	50
理学療法士	0 人	13 人	51
作業療法士	0 人	4 人	52
視能訓練士	0.8 人	1 人	53
言語聴覚士	0.8 人	2 人	54
義肢装具士	0 人	0 人	55
歯科衛生士	0 人	1 人	56
歯科技工士	0 人	0 人	57
診療放射線技師	0 人	28 人	58
臨床検査技師	0 人	36 人	59
衛生検査技師	0 人	0 人	60
臨床工学技士	0 人	16 人	61
管理栄養士	0 人	8 人	62
栄養士	0 人	0 人	63
社会福祉士	0 人	11 人	64
精神保健福祉士	0 人	0 人	65
公認心理師	0 人	2 人	66
介護福祉士	0 人	10 人	67
救命救急士	0 人	0 人	68

※②～④については、複数の資格を持つものは、両方にカウントする。

※(常勤換算)

②医師等の専門性に関する資格名に該当する人数等について	非常勤	常勤	70
一般財団法人 日本インターベンショナルラジオロジー学会 IVR専門医	0 人	1 人	71
一般社団法人 日本アレルギー学会 アレルギー専門医	0 人	1 人	72
公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線科専門医	0 人	0 人	73
公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線診断専門医	0 人	3 人	74
公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線治療専門医 (日本放射線腫瘍学会 放射線治療専門医を含めてよい)	0 人	1 人	75
一般社団法人 日本核医学会 核医学専門医	0 人	0 人	76
一般社団法人 日本核医学会 PET核医学認定医	0 人	1 人	77
公益財団法人 日本眼科学会 眼科専門医	0.3 人	0 人	78
一般社団法人 日本感染症学会 感染症専門医	0 人	1 人	79
一般社団法人 日本がん治療認定医機関 がん治療認定医	0 人	16 人	80
特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療認定医	0 人	0 人	81
特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医	0 人	1 人	82
一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医	0 人	3 人	83
一般社団法人 日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医	0 人	0 人	84

一般社団法人 日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医	0	人	1	人	86	✓
特定非営利活動法人 日本気管食道科学会 気管食道科専門医	0	人	0	人	87	✓
一般社団法人 日本救急医学会 救急科専門医	0	人	7	人	88	✓
特定非営利活動法人 日本胸部外科学会 指導医 (終身指導医を含めてよい)	0	人	1	人	89	✓
特定非営利活動法人 日本胸部外科学会 認定医 (終身認定医を含めてよい)	0	人	1	人	90	✓
一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者	0	人	0	人	91	✓
一般社団法人 日本形成外科学会 形成外科専門医	0	人	1	人	92	✓
一般社団法人 日本形成外科学会 皮膚腫瘍外科指導専門医	0	人	0	人	93	✓
一般社団法人 日本外科学会 外科専門医	0	人	16	人	94	✓
一般社団法人 日本血液学会 血液専門医	0	人	2	人	95	✓
一般社団法人 日本呼吸器学会 呼吸器専門医	0	人	3	人	96	✓
呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医	0	人	2	人	97	✓
特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医	0	人	2	人	98	✓
一般社団法人 日本サイコソロジー学会 登録精神腫瘍医	0	人	0	人	99	✓
公益社団法人 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医	0	人	9	人	100	✓
一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医	0	人	2	人	101	✓
一般社団法人 日本周産期・新生児医学会 周産期(新生児)専門医	0	人	0	人	102	✓
一般社団法人 日本循環器学会 循環器専門医	0	人	10	人	103	✓
一般社団法人 日本消化器外科学会 指導医	0	人	5	人	104	✓
一般社団法人 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医	0	人	3	人	105	✓
一般社団法人 日本消化器外科学会 消化器外科専門医	0	人	5	人	106	✓
一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	0	人	3	人	107	✓
一般社団法人 日本消化器病学会 消化器病専門医	0	人	5	人	108	✓
一般社団法人 日本消化器病学会 消化器病指導医	0	人	3	人	109	✓
公益社団法人 日本小児科学会 小児科専門医	0	人	0	人	110	✓
特定非営利活動法人 日本小児外科学会 小児外科専門医	0	人	0	人	111	✓
一般社団法人 日本小児神経学会 小児神経専門医	0	人	0	人	112	✓
一般社団法人 日本神経学会 神経内科専門医	0	人	4	人	113	✓
心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医	0	人	5	人	114	✓
特定非営利活動法人 日本心療内科学会 心療内科専門医	0	人	1	人	115	✓
一般社団法人 日本腎臓学会 腎臓専門医	0	人	1	人	116	✓
一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医	0	人	0	人	117	✓
公益社団法人 日本整形外科学会 整形外科専門医	0	人	4	人	118	✓
一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医	0	人	0	人	119	✓
公益社団法人 日本精神神経学会 精神科専門医	0	人	0	人	120	✓
一般社団法人 日本専門医機構 総合診療専門医	0	人	0	人	121	✓
一般社団法人 日本造血・免疫細胞療法学会 造血細胞移植認定医	0	人	0	人	122	✓
一般社団法人 日本総合病院精神医学会 一般病院連携精神医学専門医	0	人	0	人	123	✓
一般社団法人 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医	0	人	0	人	124	✓
一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医	0	人	0	人	125	✓
特定非営利活動法人 日本頭頸部外科学会 頭頸部がん指導医 (頭頸部がん暫定指導医を含めてよい)	0	人	0	人	126	✓
特定非営利活動法人 日本頭頸部外科学会 頭頸部がん専門医	0	人	0	人	127	✓
一般社団法人 日本透析医学会 透析専門医	0	人	1	人	128	✓
一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	0	人	2	人	129	✓
一般社団法人 日本東洋医学会 漢方専門医	0	人	0	人	130	✓
一般社団法人 日本内科学会 総合内科専門医	0	人	19	人	131	✓
一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定所有者	0	人	0	人	132	✓
一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定所得者	0	人	0	人	133	✓
一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器一般外科領域 技術認定所得者	0	人	1	人	134	✓
一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定所得者	0	人	0	人	135	✓
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	0	人	0	人	136	✓
日本内分泌外科学会/日本甲状腺外科学会 内分泌外科専門医	0	人	0	人	137	✓
一般社団法人 日本乳癌学会 乳腺専門医	0	人	1	人	138	✓
一般社団法人 日本乳癌学会 乳腺認定医	0	人	0	人	139	✓
特定非営利活動法人 日本がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフ/読影認定医師A評価	0	人	1	人	140	✓
特定非営利活動法人 日本がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフ/読影認定医師B評価	0	人	1	人	141	✓
一般社団法人 日本熱傷学会 热傷専門医	0	人	2	人	142	✓
一般社団法人 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医	0	人	4	人	143	✓
特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会 脳血管内治療専門医	0	人	2	人	144	✓
一般社団法人 日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医	0	人	1	人	145	✓
一般社団法人 日本泌尿器科学会/日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医	0	人	0	人	146	✓
公益社団法人 日本皮膚科学会 皮膚科専門医	0	人	0	人	147	✓
一般社団法人 日本病理学会 病理指導医	0	人	1	人	148	✓
一般社団法人 日本病理学会 病理専門医	0	人	2	人	149	✓
公益社団法人 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医	0	人	4	人	150	✓
一般財団法人 日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医	0	人	0	人	151	✓
公益社団法人 日本麻酔科学会 麻酔科認定医	0	人	3	人	152	✓
公益社団法人 日本麻酔科学会 麻酔科専門医	0	人	6	人	153	✓
公益社団法人 日本麻酔科学会 麻酔科指導医	0	人	5	人	154	✓
一般財團法人 日本リウマチ学会 リウマチ専門医	0	人	0	人	155	✓
公益社団法人 日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医	0	人	1	人	156	✓
公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞診専門医	0	人	3	人	157	✓
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法指導医	0	人	0	人	158	✓
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	0	人	3	人	159	✓
一般社団法人 日本臨床検査医学会 臨床検査専門医	0	人	0	人	160	✓
特定非営利活動法人 日本レーザー医学会 レーザー専門医	0	人	0	人	161	✓
一般社団法人 日本老年医学会 老年病専門医	0	人	0	人	162	✓
一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター	0	人	0	人	163	✓
一般社団法人 日本集中治療医学会 集中治療 専門医	0	人	2	人	164	✓
一般社団法人 日本心血管インターベンション治療学会 専門医	0	人	3	人	165	✓
一般社団法人 日本脳卒中学会 専門医	0	人	6	人	166	✓
歯科医師					167	
公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医	0	人	0	人	168	
					169	✓

一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医	0	人	0	人	170	✓
					171	
看護師					172	
公益社団法人 日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	0	人	1	人	173	✓
公益社団法人 日本看護協会 がん薬物療法看護認定看護師	0	人	0	人	174	✓
公益社団法人 日本看護協会 がん看護専門看護師	0	人	0	人	175	✓
公益社団法人 日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師	0	人	2	人	176	✓
公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師	0	人	1	人	177	✓
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師	0	人	1	人	178	✓
公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師	0	人	2	人	179	✓
公益社団法人 日本看護協会 精神看護専門看護師	0	人	0	人	180	✓
公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師	0	人	1	人	181	✓
公益社団法人 日本看護協会 地域看護専門看護師	0	人	0	人	182	✓
公益社団法人 日本看護協会 乳がん看護認定看護師	0	人	1	人	183	✓
公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師	0	人	3	人	184	✓
公益社団法人 日本看護協会 慢性心不全看護認定看護師	0	人	1	人	185	✓
公益社団法人 日本看護協会 生殖看護認定看護師	0	人	0	人	186	✓
一般社団法人 日本インターベンショナルラジオロジー学会／一般社団法人 日本心血管インターベンション治療学会合同認定 インターベンションエキスパートナース	0	人	0	人	187	✓
					188	
③その他専門的技術・知識を有する医療従事者			非常勤		常勤	
			※(常勤換算)			
一般社団法人 日本臨床腫瘍学会 外来がん治療認定薬剤師	0	人	1	人	191	✓
一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師	0	人	0	人	192	✓
一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	0	人	2	人	193	✓
一般社団法人 日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師	0	人	1	人	194	✓
特定非営利活動法人 日本がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	0	人	5	人	195	✓
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	0	人	2	人	196	✓
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	0	人	2	人	197	✓
一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士	0	人	3	人	198	✓
公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士	0	人	6	人	199	✓
一般社団法人日本人類遺伝学会及び日本遺伝カウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー	0	人	0	人	200	✓
一般社団法人日本家族性腫瘍学会 家族性腫瘍カウンセラー	0	人	0	人	201	✓
一般社団法人 日本病態栄養学会/ 公益社団法人 日本栄養士会 がん病態栄養専門管理栄養士	0	人	3	人	202	✓
四病院団体協議会／医療研修推進財団 診療情報管理士	0	人	10	人	203	✓
一般社団法人 日本生殖心理学会 がん・生殖医療専門心理士	0	人	0	人	204	✓
			205			
④その他の従事者					206	
診療録管理部門の職員	0	人	8	人	207	✓
公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理士	0	人	2	人	208	✓
臨床試験コーディネーター	0	人	2	人	209	✓
(5)その他					210	
①夜間(深夜も含む)救急対応の可否			可	(可／否)	211	✓
②各種委員会の設置状況					212	
倫理審査委員会	あり	(あり／なし)	年 12	回開催(期間:令和3年1月1日～12月31日)	213	✓
治験審査委員会	あり	(あり／なし)	年 12	回開催(期間:令和3年1月1日～12月31日)	214	✓
医療安全委員会	あり	(あり／なし)	年 22	回開催(期間:令和3年1月1日～12月31日)	215	✓
(6)患者数・診療件数の状況					216	
①患者数等(期間:令和3年1月1日～12月31日)					217	
年間入院患者数※1			10,255	人	218	
年間入院がん患者数※2			2,015	人	219	✓
年間入院患者数に占めるがん患者の割合			19.6	%	220	✓
年間外来がん患者延べ数※3			43,548	人	221	
年間院内死亡がん患者数			45	人	222	✓
年間院内死亡がん患者数			223		224	✓
※1 同一患者について、当該期間における同一主傷病に対する複数入院はまとめて、1人と計上する。同一患者について、異なる主傷病に対する入院は別個に計上する。 ※2 例えば、同一患者が当該期間に同一主傷病で2回入院した場合は1人とする。異なる主傷病で2回入院した場合は2人とする。 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成または記載の追加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成または記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。						
②検査等の実施状況					225	
ア 病理診断の件数(期間:令和3年1月1日～12月31日)					226	
病理診断			5,888	件	227	✓
細胞診診断			5,869	件	228	✓
病理組織迅速組織顕微鏡検査			262	件	229	✓
(7)地域がん診療病院とグループ指定を受けている。			いいえ	(はい／いいえ)	230	✓
グループ指定を受けている場合、その状況について別紙27に記載すること。					231	
(8)各治療の状況について					232	
手術等の状況					233	
大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆脾がんに関する悪性腫瘍の手術件数(令和3年1月1日～12月31日)					234	✓
大腸がん(C18\$、C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2)の手術件数					235	
開腹手術 K7193、K739\$、K740\$			19	件	236	
腹腔鏡下手術 K719-3、K740-2\$			110	件	237	
内視鏡手術 K721\$、K721-4、K739-2、K739-3			46	件	238	
肺がん(C34\$、D02.2)の手術件数					239	
開胸手術 K511\$、K514\$、K518\$			3	件	240	✓
胸腔鏡下手術 K514-2\$			75	件	241	✓
胃がん(C16\$、D00.2)の手術件数					242	

開腹手術 K654-2、K6552、K655-42、K6572	17	件	248	✓
腹腔鏡下手術 K654-3\$、K655-22、K655-52、K657-22	33	件	249	✓
内視鏡手術 粘膜切除術(EMR)K6531	0	件	250	✓
内視鏡手術 粘膜下層剥離術(ESD)K6532	65	件	251	✓
乳がん(C50\$、D05\$)の手術件数			252	
手術 K476\$	155	件	253	✓
乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2	0	件	254	✓
乳腺腫瘍摘出術(生検) K474\$	17	件	255	✓
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3\$	0	件	256	✓
乳房再建術(乳房切除後) 二次的に行うもの K476-32	0	件	257	✓
前立腺がん(C61)の手術件数			258	
開腹手術 K843	0	件	259	✓
腹腔鏡下手術 K843-2、K843-3、K843-4	0	件	260	✓
肝臓がん(C22\$、D01.5)の手術件数			261	
開腹手術 K695\$	16	件	262	✓
腹腔鏡下手術 K695-2\$	4	件	263	✓
マイクロ波凝固法 K697-2\$	0	件	264	✓
ラジオ波焼灼療法 K697-3\$	27	件	265	✓
胆のうがん(C23)の手術件数			266	
開腹手術 K675\$	5	件	267	✓
腹腔鏡下手術 K675-2	0	件	268	✓
胆管がん(C240、C241、C248、C249)の手術件数			269	
開腹手術 K677、K677-2	1	件	270	✓
膵臓がん(C250、C251、C252、C253、C254、C257、C258、C259)の手術件数			271	
開腹手術 K700-2、K702\$、K703\$、K704	16	件	272	✓
腹腔鏡下手術 K700-3、K702-2\$、K703-2\$	4	件	273	✓
放射線治療の状況			274	
※以下、放射線治療件数に関する項目は、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。			275	
全てのがんを対象としたのべ患者数（令和3年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数）			276	
体外照射	321	人	277	✓
定位照射(脳)	10	人	278	✓
定位照射(体幹部)	4	人	279	✓
強度変調放射線治療(IMRT)	0	人	280	✓
粒子線治療(重粒子線、陽子線治療)	0	人	281	✓
密封小線源治療	0	人	282	✓
核医学治療	0	人	283	✓
我が国に多いがんを対象としたのべ患者数（令和3年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数）			284	
※原発巣に記載してください。			285	
肺がん	51	人	286	✓
胃がん	2	人	287	✓
肝がん	5	人	288	✓
大腸がん	17	人	289	✓
胆のう・胆管がん	0	人	290	✓
膵臓がん	4	人	291	✓
乳がん	148	人	292	✓
前立腺がん	2	人	293	✓
緩和ケアチームに対する新規診療症例の状況(重複可)(令和3年1月1日～12月31日)			294	
身体症状の緩和を行った症例数	219	人	295	✓
精神症状の緩和を行った症例数	171	人	296	✓
社会的苦痛に対する緩和を行った症例数	35	人	297	✓
自施設で実施したがんの治療に関する妊娠性温存治療の状況(令和3年1月1日～12月31日)			298	
がんの治療に際する妊娠性温存目的で精子保存を行った患者の人数	0	人	299	✓
がんの治療に際する妊娠性温存目的で精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数	0	人	300	✓
がんの治療に際する妊娠性温存目的で未受精卵子、受精卵(胚)、あるいは、卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数	0	人	301	✓
302				
成人のがん患者の造血器腫瘍に対する自家移植を自施設で行う体制を有している。	いいえ	(はい／いいえ)	303	✓
成人のがん患者の造血器腫瘍に対する同種移植を自施設で行う体制を有している。	いいえ	(はい／いいえ)	304	✓
成人のがん患者の固形腫瘍に対する自家移植を自施設で行う体制を有している。	いいえ	(はい／いいえ)	305	✓
小児のがん患者の造血器腫瘍に対する自家移植を自施設で行う体制を有している。	いいえ	(はい／いいえ)	306	✓
小児のがん患者の造血器腫瘍に対する同種移植を自施設で行う体制を有している。	いいえ	(はい／いいえ)	307	✓
小児のがん患者の固形腫瘍に対する自家移植を自施設で行う体制を有している。	いいえ	(はい／いいえ)	308	✓
309				
成人のがん患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。	いいえ	(はい／いいえ)	310	✓
小児のがん患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。	いいえ	(はい／いいえ)	311	✓
312				
(9)小児がん患者への対応について			313	
院内学級を開催している(院内学級とは、ここでは院内に設置された小・中学特別支援学級、特別支援学校を指す)。	いいえ	(はい／いいえ)	314	✓
小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。	いいえ	(はい／いいえ)	315	✓
小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。	いいえ	(はい／いいえ)	316	✓
小児がん患者と家族が利用できる院外の最寄宿泊施設院から自施設までの移動時間(該当施設がない場合には0を記入)	0	分	317	✓
318				
(10)その他の施設について			319	
集中治療室を設置している。	はい	(はい／いいえ)	320	✓
緩和ケア病棟を有している。	いいえ	(はい／いいえ)	321	✓
緩和ケア病棟を有する場合、別紙6に詳細を記載すること。			322	
323				
(11)その他			324	
がん検診後の精密検査を実施している。	はい	(はい／いいえ)	325	✓
精密検査を実施している場合、令和3年4月1日～令和4年3月31日の期間に実施した精密検査の受診件数を記載してください。			326	
※一人の患者が同一のがん種について、2回検査を受けた場合には、2件として計上してください。			327	
※一人の患者が複数のがん種について1回ずつ検査を受けた場合には、それぞれのがん種に1件として計上してください。			328	
329				
大腸がん	291	件	329	✓
肺がん	216	件	330	✓
胃がん	385	件	331	✓
乳がん	25	件	332	✓
子宮頸がん	480	件	333	✓
334				

2	医療機関名	福岡県済生会福岡総合病院
3	推進類型	地域がん診療連携拠点病院
4	令和4年9月時点指定類型	地域がん診療連携拠点病院
5	[記入箇所]	
6	都道府県がん診療連携拠点病院	: II・IV （※特定機能病院である場合には、IIIにも回答すること。）
7	県立がん診療連携拠点病院	: III （※特定機能病院である場合には、IIIにも回答すること。）
8	特定機能がん診療連携拠点病院	: B・V
9	地域がん診療病院	: VI

未充足の必須要件があります。別紙1に詳細を記載してください。

指針の箇所	要件	要件区分	令和4年9月1日時点の状況	備考欄
245	中級認定者の認定を受けている、事従の院内がん登録の実務を担う者の人数	A	1	
246	(3) 年々、最新のがん登録規程に沿った性能を有するがん登録センターに提出している。	A	はい	
247	(4) 院内がん登録を活用することにより、都道府県の実務するがん登録に必要な情報を提供している。	A	はい	
248				
249	(3) 情報提供・普及寄附			
250	① 自施設で対応できるがんについて、提供可能な診療内容を病院ホームページ等でわかりやすく広報している。	A	はい	
251	希少がん、小児がん、AYA世代のがん患者への治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる場合や連携して実施する場合はその旨を広報している。	A	はい	
252	希少がんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる場合や連携して実施する場合はその旨を広報している。	A	はい	
253	小児がんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる場合や連携して実施する場合はその旨を広報している。	A	はい	
254	AYA世代のがんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる場合や連携して実施する場合はその旨を広報している。	A	はい	
255	腎臓疾患への治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる場合や連携して実施する場合はその旨を広報している。	A	はい	
256	妊娠性腫瘍への治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる場合や連携して実施する場合はその旨を広報している。	A	はい	
257	提供できる治療・支援の内容を広報している。	A	はい	
258	提供できる治療・支援の内容を広報している。	A	はい	
259	提供できる治療・支援の内容を広報している。	A	はい	
260	提供できる治療・支援の内容を広報している。	A	はい	
261	提供できる治療・支援の内容を広報している。	A	はい	
262	大規模災害や医療事故の発生などにより自施設の診療状況に変化が生じた場合は、速やかに医療公開するうえで改めている。	A	はい	
263	特に、既往歴が多いがんの場合、自施設でない医療機関等で受けた治療や検査結果等が改めて示された後のフォローアップについて地域で連携して実施する場合等の情報提供を行っている。	A	はい	
264	地域を対象として、継続アドバイスや定期的な検査、患者向け一覧表などの情報提供を行っている。	A	はい	
265	参加中の治療についてその内容やあるがんの種類及び薬剤名を記載している。	A	はい	
266	患者に対して治療も含め医療品の品質保証、臨床研究、先進医療、患者申出療養等に関する適切な情報提供を行うとともに、必要に応じて適切な医療情報提供を行っている。	A	はい	
267	がん教育について、当該がん医療機関における学校や職域から依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい知識の普及啓発に努めている。	A	はい	
268	がん教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を行っている。	A	はい	
269				
270	6 調査研究及び調査報告書			
271	(1) 政策的・実務的に必要な高い課題を掲げている。	A	はい	
272	これらの研究の協力組織に對応する医療機関を国立がん研究センターに登録する。	A	はい	別紙18に記載してください。
273	(2) 治療を含む医療品質の臨床研究を行なう場合は、臨床研究コードネーター(CRC)を配置する。	-	はい	
274	治療を含む医療品質の臨床研究を行なう場合は、臨床研究コードネーター(CRC)を配置している。	A	はい	273が「はい」の場合は要件区分がAになります。
275	臨床研究コードネーターとして勤務している者がいる。	A	2	
276	治療を除く医療品質の臨床研究を行なう場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。	-	はい	
277	治療を除く医療品質の臨床研究を行なう場合は、臨床研究法に則った体制を整備している。	-	はい	
278	臨床研究法に則った体制を整備している。	A	はい	277が「はい」の場合は要件区分がAになります。
279	審査部門の広範囲に営んでいる。	A	はい	
280				
281	7 病棟の質の改善のための取り組み			
282	(1) 自施設の診療実績や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内での関係者と共有した上で、組織的な改善を講じている。	A	はい	別紙19に詳細を記載してください。
283	その他のQuality Indicatorを利用などして、PDCAサイクルが循環できることを工夫している。	A	はい	別紙20に詳細を記載してください。
284	医療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を整備している。	A	はい	別紙20に詳細を記載してください。
285	日本医療機能評価機構の基準適合度による評価を受けている。	-	ISO9001	
286				
287	8 グループ指定			
288	地域がん診療病院とグループ指定を受ける場合には、以下の体制を整備すること等によりグループ指定を受ける地域がん診療病院と協働して当該地域におけるがん登録等の具体体制を確立すること。	-		
289	地域がん診療病院とのグループ指定を受けている。	-	いいえ	別紙27に詳細を記載してください。
290	(1) 運営機関等による手術経験、放射線経験、薬物療法治療を実施する体制を整備している。	-		
291	標準的な薬物療法治療を提供するためのジンジニアリング等における支援を行っている。	-		
292	標準的な放射線治療を実施するための放射線的な専門スタッフとの連携を行っている。	-		
293	(4) 手術を除く医療品質の臨床研究を行なう場合は、臨床研究コードネーターとして勤務している者がいる。	-		
294	診療規程等のための採用率に関する人材配置の計画策定及び実行の体制を整備している。	-		
295	診療規程等のための採用率に関する人材配置を確立している。	-		
296	(7) 病院ホームページ、パンフレット等による採用する地域がん診療病院名やその連絡内容、連絡窓口等についてわかりやすく広報している。	-		
297				
298	III 特定機能病院を地元がん診療病院等とする場合の指定要件について			
299	医療法第4条の2に基づく特定機能病院を地元がん診療病院として指す場合には、当該医療機関はⅡの地域拠点病院の指定要件に加え、他の拠点病院等に対する医師の就業や人材育成による診療支援に積極的に取り組み、その統合から都道府県協議会に積極的に参画すること。	-		
300	他の拠点病院等に対する医師の就業や人材育成による診療支援に積極的に取り組んでいる。	-		
301	他の拠点病院等に対する医師の就業や人材育成による診療支援に隣接する施設を支えるに限り、都道府県協議会に積極的に参画している。	-		
302	1 都道府県における相談支援機関強化に向けた要件			
303	診療機能強化に向けた要件			
304	(1) 当該都道府県においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する薬剤師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を実施している。	-		
305	(2) 当該都道府県の拠点病院等及び当該都道府県におけるがん医療を担当する者に対し、情報提供、症例相談及び医療支援を行っている。	-		
306	都道府県協議会の事務局として、主体的に議論会運営を行っている。	-		
307	都道府県協議会の開催回数(回数) 令和3年4月1日～令和4年3月31日	-		
308	2 都道府県における相談支援機関強化に向けた要件			
309	相談支援機関としての地元の医療機関の医療機能で実施されるがんに関する臨床試験について情報連携に努めている。	-		
310	(2) がん登録センターにおけるがん登録等の実施に伴う情報連携セミナー等による相談員が登録センターに登録する医師の登録登録等の実施に伴う情報連携を行っている。	-		217に数字を入力すると、自動的に判定されます。(手動での入力は不要です。)
311	相談支援機関としての地元の医療機関の医療機能で実施されるがん登録センターによる相談員が登録登録等の実施に伴う情報連携を行っている。	-		
312	(3) 外来初診時から治療開始までを目표に、がん患者及びその家族を対象としてがん相談センター訪問を実施する。	-		別紙13に詳細を記載してください。
313	がん登録センターの連絡窓口等に登録登録等の実施に伴う情報連携を行っている。	-		
314	当該都道府県の地元の診療機関等の相談支援機関に携わる者は、当該都道府県の地元の診療機関等に登録登録等の実施に伴う情報連携を行っている。	-		
315	3 都道府県における診療機能強化に向けた要件			
316	(1) 当該都道府県における医療提供体制の中心として、緩和ケアチーム、緩和ケア外来、緩和ケア病棟等を有機的に統合する緩和ケアセンターを整備する。	-		別紙21に詳細を記載してください。
317	当該医療機関については、常勤的あるいは、年内に定期的に明確位置づけられる医師の登録登録等の実施に伴う情報連携を行っている。	-		
318	① がん登録センターに開設するがん登録等の実施に伴う情報連携を行なうがん登録センターは、緩和ケアチーム等が主体となり以下の活動を行なう。	-		別紙22に詳細を記載してください。
319	② 緩和ケアフレームレスを実施するがん登録センターは、緩和ケア病棟等におけるがん登録センターと共存している。	-		
320	緊急緩和ケア病棟を実施し、かかりつけ医の登録登録等の実施に伴う情報連携を行なうがん登録センターは、緩和ケア病棟等の実施に伴う情報連携を行なうがん登録センターと連携して、緊急入院体制を確立している。	-		
321	④ 地域の診療機関や診療病院等の診療機関、ホスピス、緩和ケア病棟等の診療従事者と協働して、緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレンスを開催する。	-		
322	⑤ 緩和ケアセンターの構成員が参加するカンファレンスを週1回以上の頻度で開催し、緩和ケアセンターの業務に関する情報共通や連携を行なっている。	-		
323	⑥ 緩和ケアセンターは、都道府県と協力するにように、都道府県内の各拠点病院等が、緩和ケア提供体制の質的向上や、地域単位の緩和ケアセンターの連絡窓口等について連絡を行なっている。	-		
324	⑦ 緩和ケアセンターには、IIの2)(2)の2)の2)の2)に規定する緩和ケアチームの構成員に加えて、以下の専門的な知識及び技能を有する医師を配置している。	-		
325	緩和ケアセンターの構成員に加えて、緩和ケア外来、緩和ケア病棟等を有機的に統合する緩和ケアセンターは、緩和ケアチーム等が主体となり以下の活動を行なう。	-		
326	当該医療機関については、常勤的あるいは、年内に定期的に明確位置づけられる医師の登録登録等の実施に伴う情報連携を行っている。	-		
327	緊急緩和ケア病棟を実施するがん登録センターは、緩和ケア病棟等の実施に伴う情報連携を行なうがん登録センターと連携して、緊急入院体制を確立している。	-		
328	当該医療機関や診療病院等の診療機関、ホスピス、緩和ケア病棟等の診療従事者と協働して、緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレンスを開催する。	-		
329	緩和ケアセンターの構成員が参加するカンファレンスを週1回以上の頻度で開催し、緩和ケアセンターの業務に関する情報共通や連携を行なっている。	-		
330	緩和ケアセンターには、IIの2)(2)の2)の2)の2)に規定する緩和ケアチームの構成員に加えて、以下の専門的な知識及び技能を有する医師を配置している。	-		
331	当該医療機関は、緩和ケアセンターと連絡窓口等を有する。	-		
332	イ エ (1) がん登録センターは、IIの2)(2)の2)の2)の2)に規定する緩和ケアセンターと連携して、緩和ケアセンターの業務に関する情報共通や連携を行なっている。	-		
333	イ エ (2) がん登録センターは、IIの2)(2)の2)の2)の2)の2)に規定する緩和ケアセンターと連携して、緩和ケアセンターの業務に関する情報共通や連携を行なっている。	-		
334	ウ エ (1) がん登録センターは、IIの2)(2)の2)の2)の2)の2)に規定する緩和ケアセンターと連携して、緩和ケアセンターの業務に関する情報共通や連携を行なっている。	-		
335	ウ エ (2) がん登録センターは、IIの2)(2)の2)の2)の2)の2)に規定する緩和ケアセンターと連携して、緩和ケアセンターの業務に関する情報共通や連携を行なっている。	-		
336	エ オ オ ジャカルタのセンターを中心とする、歯科医師や医療心理に携わる者、理学療法士、看護栄養士、歯科衛生士等の臨床経験者等を育成している。	-		
337	オ ジャカルタのセンターを中心とする、歯科医師や医療心理に携わる者、理学療法士、看護栄養士、歯科衛生士等の臨床経験者等を育成している。	-		
338	V 特定機能病院を地元がん診療病院等とする場合の指定要件について			
339	1 統合のがんについて、集学的治療等を提供する体制を有している。	-		別紙22に詳細を記載してください。
340	集学的治療等を提供する体制を有する、具体的ながん種について記載してください。	-		
341	標準的治療等がん患者の技術に応じて適切な治療を提供している。	-		
342	当該がんについて当該都道府県内で多くの医療機関が診療を実施している。	-		
343	2 IIに規定する地域拠点病院の指定要件を満たしている。	-		12～296に開示して、区分別の要件に未満足がない場合は「はい」を選択してください。
344	3 肝臓癌がんがん患者と専門的連携を有するがん患者を診療する。	-		別紙23に詳細を記載してください。
345	4 特定的治療方針による高い治療効果や知能を共有する観点から、癌専門病院等との人材交流、合同のカンファレンス、診療業務や相談支援業務に取り組む。	-		別紙24に詳細を記載してください。
346	IV 地域がん登録病院の指定要件について			
347	1 都道府県協議会における役割			
348	各都道府県の他の癌専門病院等と協働して都道府県協議会を設置し、その運営に主体的に参画すること。	-		
349	その際、各医療機関におけるがん医療の質向上に向けた、当該がん登録病院を代表して都道府県協議会の運営にあたるとともに、都道府県協議会の方針に沿ってがん登録病院等におけるがん医療が適切に運営されること。	-		
350	2 治療体制			
351	(1) 診療機能			
352	① 集学的治療等の提供体制及び標準的治療等の提供			
353	ア 我が国で多くがんを中心として、グループ指導を受けるがん登録病院等の診療機関と連携して集学的治療等を提供する体制を有するとともに、標準的治療等の提供体制を有するがん登録病院等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		別紙25に詳細を記載してください。
354	イ 症例別に標準的治療等を有するがん登録病院等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		
355	ウ 医師からの指示結果、病理診断結果、検査の結果等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		
356	エ 医師からの指示結果、病理診断結果、検査の結果等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		
357	オ 医師からの指示結果、病理診断結果、検査の結果等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		
358	シ 医師からの指示結果、病理診断結果、検査の結果等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		
359	チ 医師からの指示結果、病理診断結果、検査の結果等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		
360	ソ 医師からの指示結果、病理診断結果、検査の結果等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		
361	ヌ 医師からの指示結果、病理診断結果、検査の結果等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		
362	ヌ 医師からの指示結果、病理診断結果、検査の結果等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		
363	ヌ 医師からの指示結果、病理診断結果、検査の結果等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		
364	ヌ 医師からの指示結果、病理診断結果、検査の結果等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		
365	ヌ 医師からの指示結果、病理診断結果、検査の結果等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		
366	ヌ 医師からの指示結果、病理診断結果、検査の結果等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		
367	ヌ 医師からの指示結果、病理診断結果、検査の結果等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		
368	カ キ 医師からの指示結果、病理診断結果、検査の結果等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		
369	カ キ 医師からの指示結果、病理診断結果、検査の結果等の診療機関と連携して標準的治療等を提供する体制を有する。	-		

指針の箇所	要件	要件区分	令和4年9月1日時点の状況		備考欄
			令和4年9月1日時点の状況	令和4年9月1日時点の状況	
370	保険適用外の免疫療法等について、提供または推奨している場合は、上記のどの枠組みに該当するか明記すること。	-			
371	② 手術療法、放射線療法、薬物療法の提供体制の特徴事項				
372	業素的治療等又は適切に提供できる体制を整備する上で、通常グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により特に以下に対応すること。	-			
373	ア 我が国で多いがん専門医による手術のうち、提供が困難であるものについてはグループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により提供できる体制を整備すること。	-			
374	イ グループ指定を受けがん診療連携拠点病院と連携することにより専門グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により提供できる体制を整備すること。	-			
375	（なお、当該体組合は医師会連絡機関でもあります。）	-			
376	ウ 基礎管理費割の一段として、手術前位癌治療に関するサービスラインを登録している。	-			
377	エ 設備や人材配置の点から放射線治療の提供に困難である場合は、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備すること。	-			
378	自施設で放射線治療を提供できる体制を整備している。	-			
379	380		380が「いいえ」の場合、要件区分となります。		
381	オ グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。	-	379が「いいえ」の場合には、「いいえ」を選択してください。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には「いいえ」を選択してください。		
382	関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力検量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。	-			
383	●リニアックについて※自施設で実施している場合のみ	直近で実施した第三者機関による出力検量測定の時刻を明記すること。(YYYY/MM)			
384	測定機器名を記入すること。				
385	●强度変調放射線治療について※自施設で実施している場合のみ	直近で実施した第三者機関による出力検量測定の時刻を明記すること。(YYYY/MM)			
386	測定機器名を記入すること。				
387	基準検量の±5%の水準以内である。				
388	カ 放射化療法を実施しているがん患者が免疫療法の終始期に入院できる体制を整備している。	-			
389	キ 免疫療法と併用する薬物を多く有する薬物に特に副作用が重なる薬物に対する対応している。	-			
390	ク グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジメンを審査とともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を整備している。	-			
391	③ 総括ケアの提供体制				
392	ア がん診療に携わる全ての診療従事者により、全てのがん患者に対し入院・外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回に定期的にがん患者に対する総括ケアを実施している。	-			
393	イ がん患者の身心の苦痛・精神的・理学的苦痛、社会的問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、診断段階から一直貫り行っている。	-			
394	III 診療や医療方針の変更時には、ラフマニーナー試験・就労・経済状況、家庭との関係性等、がん患者とその家族にとって重要な問題について、患者の希望を聞き、アドバイス・配慮・支援・サポート等を行っている。	-			
395	ウ アトモセラピー等の緩和ケアを実施するため、医師から看護師等への連携を図り、患者の状態を把握して上級化することを必要であり、これを支援するために組織上明確に連携体制を構築し、各部門間での連携・情報共有を図り、看護師等が患者の状態を把握して上級化している。	-			
396	エ 院内連携体制として、院内連携会議等で連携・情報共有を行っている。	-			
397	オ フォローカード等の緩和ケアを実施するため、院内連携会議等で連携・情報共有を行っている。	-	別紙Bに詳細を記載してください。		
398	●(2)の2つに規定する看護師、看護師の指導や部門の緩和ケア、外来・病棟の看護業務を支える体制・強化する役割を担っている。	-			
399	ア 緩和ケアの実施場所を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施する。	-			
400	イ 緩和ケアの実施場所を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施する。	-			
401	II 痛み緩和のための緩和ケアを実施する。	-	別紙Bに詳細を記載してください。		
402	ア がん患者の痛み緩和のための緩和ケアを実施する。	-			
403	イ がん患者の痛み緩和のための緩和ケアを実施する。	-			
404	オ 医療用麻薬等の緩和薬の初回用や中量の減滅時は、医師からの説明とともに薬剤師や看護師等により、外来・病棟と連携して用意している。	-			
405	●(3)の緩和ケアの実施場所を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施している。	-			
406	カ 院内の診療従事者と連携して緩和ケアを実施する。	-			
407	Ⅲ 緩和ケアチームへの連携と緩和ケアを複数とすることで、緩和ケアをより広く実施する。	-			
408	イ Ⅲに、患者との対話に緩和ケアを組み入れた診療内容を実施している。	-			
409	ウ 緩和ケアの実施体制について緩和ケアチームと各部署をつなぐ役割を担う緩和ケア会議を実施している。	-	パンフレット、運営施設において、各種専門チームや委員会と病棟看護師等をつなぐ役割を担う緩和ケア会議を実施すること。		
410	オ がん患者の痛み緩和のための緩和ケアを実施する。	-	アドバイス・ケア・プランニング、人の最終医療の選択・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繋り合い話し合うプロセスのこと。		
411	●(4)の緩和ケアの実施場所を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施している。	-			
412	コ 痛み緩和のための専門的な緩和的治療体制について、以下の通り確立すること。	-			
413	I 痛み緩和のための専門的緩和ケアについて、自施設における医師看護師との連携体制を明確に定めている。	-	別紙Fに詳細を記載してください。		
414	II 自施設で実施した疾患別に、専門的緩和ケアの実施場所を明確に定めている。	-			
415	III 緩和ケアの実施体制について緩和ケア会議を実施している。	-			
416	IV 痛み緩和のための専門的緩和ケアの実施場所を明確に定めている。	-			
417	V 痛み緩和のための専門的緩和ケアの実施場所を明確に定めている。	-			
418	VI 院内連携体制を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施している。	-			
419	●(5)の緩和ケアの実施場所を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施している。	-			
420	オ 全てがん患者に対して、疼痛の評価尺度等について、緩和ケアを実施する。	-			
421	●(6)の緩和ケアの実施体制				
422	ア 全てがん患者に対して、疼痛の評価尺度等について、緩和ケアを実施する。	-	PRO、自觉症状やQOLに関する対応の評価のために行う患者の主観的な報告をまとめた評価のことを。		
423	イ それまでの自己実現による緩和ケアを実施する。	-	それを踏まえて自施設において組成された改善策を講じるなど、緩和ケアの体制の改善に努めている。		
424	●(7)の緩和ケアの実施体制				
425	ア 公共認定病院等の連携体制における割引分担の整備を用い、対応可能な施設への紹介等の連携体制を構築している。	-			
426	イ その実績に対応して、当該施設内の緩和ケアを実施する医療行為等を委託する連携病院等のマップやリストを作成する等、患者や医療従事者に対する連携体制を明確に定めている。	-	別紙Fに詳細を記載してください。		
427	オ 少少がらんに關して、専門による連携体制が提供されるが、他の医療機関等及び地域の医療機関との連携及び情報提供ができる体制を確立している。	-			
428	●(8)の緩和ケアの実施場所を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施している。	-			
429	ア 介護施設等に入居する患者がんに連携する在宅医療・看護師等と連携して緩和ケアを実施する体制を確立している。	-			
430	イ 当該施設の医師の連絡先・問い合わせ窓口を設け、連絡窓口を設けている。	-			
431	オ がん患者に対して、周術期の口腔健康改善や、治療中の副腎皮質ホルモン療法等の副作用による頭痛等の対応等の連携体制を確立している。	-			
432	●(9)の緩和ケアの実施場所を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施している。	-			
433	カ 退院支援等に当たっては、主治医・緩和ケアチーム等の連携により看護場所等に関する意思決定支援を行うとともに、必要な連携体制を確立している。	-			
434	キ がん患者の疼痛緩和等の連携体制を確立している。	-			
435	ク 緩和ケアの実施場所を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施している。	-			
436	ク 都道府県や地元の医療者等と連携し、患者がん等の求めに応じてピア・サポートの質の向上に対する支援等に取り組んでいる。	-	ピア・サポート：患者・経験者やその家族がピア（仲間）として体験を共有し、共に考えることで、患者や家族等を支援すること。		
437	●(10)の緩和ケアの実施体制				
438	ア 対応可能ながんの診療・治療に際しては、積極的に都道府県協議会による割引分担の整備を用い、対応可能な施設への紹介等の連携体制を構築している。	-			
439	イ がん患者の生存率向上等の観点から、専門的緩和ケアを実施する医療機関との連携体制を明確に定めている。	-			
440	ウ がん患者の生存率向上等の観点から、専門的緩和ケアを実施する医療機関との連携体制を明確に定めている。	-			
441	●(11)の緩和ケアの実施場所を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施している。	-			
442	オ がん患者の生存率向上等の観点から、専門的緩和ケアを実施する医療機関との連携体制を明確に定めている。	-			
443	●(12)の緩和ケアの実施体制				
444	ア 少少がらん・難治性がんの患者の診療・治療に際しては、積極的に都道府県協議会による割引分担の整備を用い、対応可能な施設への紹介等の連携体制を構築している。	-			
445	イ がん患者の生存率向上等の観点から、専門的緩和ケアを実施する医療機関との連携体制を明確に定めている。	-			
446	ウ がん患者の生存率向上等の観点から、専門的緩和ケアを実施する医療機関との連携体制を明確に定めている。	-			
447	●(13)の緩和ケアの実施場所を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施している。	-			
448	オ がん患者の生存率向上等の観点から、専門的緩和ケアを実施する医療機関との連携体制を明確に定めている。	-			
449	●(14)の緩和ケアの実施体制				
450	ア 就学、就労、妊娠・育児等の温アピール等に関する連携体制を確立している。	-			
451	イ がん患者の生存率向上等の観点から、専門的緩和ケアを実施する医療機関との連携体制を明確に定めている。	-			
452	オ がん患者の生存率向上等の観点から、専門的緩和ケアを実施する医療機関との連携体制を明確に定めている。	-			
453	●(15)の緩和ケアの実施場所を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施している。	-			
454	オ がん患者の生存率向上等の観点から、専門的緩和ケアを実施する医療機関との連携体制を明確に定めている。	-			
455	●(16)の緩和ケアの実施体制				
456	ア がん患者の生存率向上等の観点から、専門的緩和ケアを実施する医療機関との連携体制を明確に定めている。	-			
457	●(17)の緩和ケアの実施場所を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施している。	-			
458	●(18)の緩和ケアの実施体制				
459	ア 對応可能ながんについて専門的な知識及び技能を有する手術療法に携わる医師の人数	-	※一人以上の配置が必要です。		
460	イ 専門的放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の人数(※放射線治療を実施する場合)	-	※専門的放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の人数		
461	ウ 専門的薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	-	※一人以上の配置が必要です。		
462	エ 緩和ケアチームに配置されている、専任の身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	-	※一人以上の配置が必要です。		
463	オ 緩和ケアチームに配置されている、精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	-	※一人以上の配置が必要です。		
464	●(19)の緩和ケアの実施場所を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施している。	-			
465	オ 専門的の理学療法治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	-			
466	●(20)の緩和ケアの実施場所を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施している。	-			
467	●(21)の緩和ケアの実施体制				
468	ア 放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する手術療法に携わる医師の人数	-	※放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する手術療法に携わる医師の人数		
469	イ 放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する放射線治療に携わる医師の人数	-	※放射線治療に実施する場合には、2人以上の配置が必要です。		
470	ウ 専門的放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	-			
471	●(22)の緩和ケアの実施場所を複数とすることで、緩和ケアをより広く実施している。	-			
472	オ 専門的放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	-	※放射線治療を自施設で実施する場合には、1人以上の配置が望ましい。		
473	イ 外来化療療法に配置されている、専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師の人数	-	※一人以上の配置が必要です。		
474	外 来化療療法に配置されている、専任の看護師のうち、がん薬物療法に関する専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師の人数	-			
475	外 来化療療法に配置されている、専任の看護師のうち、がん薬物療法に関する専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師の人数	-			
476	外 来化療療法に配置されている、専任の看護師のうち、がん薬物療法に関する専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師の人数	-			
477	外 来化療療法に配置されている、専任の看護師のうち、がん薬物療法に関する専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師の人数	-			
478	ウ 常勤の看護師の人数	-			
479	エ 緩和ケアチームに配置している薬剤師、社会福祉士等の相談支援に携わる医師の人数	-	※一人以上の配置が必要です。		
480	●(23)の緩和ケアの実施体制				
481	ア 緩和ケアチームに配置している薬剤師、社会福祉士等の相談支援に携わる医師の人数	-			
482	イ 緩和ケアチームに配置している精神科看護師等の相談支援に携わる医師の人数	-			
483	エ 緩和ケアチームに配置している、常勤の看護師の人数	-			

指告の箇所	要件	要件区分	令和4年9月1日時点の状況	備考欄
484	オ	当該診断に係る要素に規定する専門的な知識及び技能を有する者の人数 当該診療従事者のうち、細胞診断に関する専門資格を有する者の人数	二	
485	(3) その他の環境整備等			
486	必要に応じグループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携する等により、Ⅱの2の(3)に定める要件を満たすこと。	-		
487	① がん患者に対する医療用具卸販売会社によるターネット構築を実施している。	-		別紙9に詳細を記載してください。
488	集団的治療法の実施や治療前後の生活における注意点等に関して、冊子や視聴覚教材等を用いてがん患者及びその家族が自動的に確認できる環境を整備している。	-		
489	② がん治療用具卸販売会社によるターネット構築を実施している。	-		
490	③ がん治療用具卸販売会社によるターネット構築を実施している。	-		
491	④ がん患者の自殺リスクに対する認知度を高め、周囲と共有したフローを使用し、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。	-		別紙14に詳細を記載してください。
492	対応方法や関係機関との連携について、隣接施設に併設あるを行う体制を構築している。	-		
493	自施設にて精神科、心療内科等がある。	-		
494	自施設にて精神科、心療内科等がない場合は、地域の医療機関と連携体制を確保している。	-		
495	自施設にて精神科、心療内科等がない場合は、地域の医療機関と連携体制を確保している。	-		・自施設にて精神科はあるが、自施設単体で対応できない場合も回答してください。 ・490-491がともに「はい」の場合には、未入力チェックのため、「はい」を選択してください。
496	3 診療実績			
497	当該がん医療圏のがん患者を対象とした診療実績を述べてください。	当該がん医療圏のがん患者の診療割合(%)	-	
498	当該がん医療圏のがん患者を対象とした診療実績を述べてください。	当該がん医療圏のがん患者の診療割合(%)	-	第1上法について(は)、Q48を記載すること。
499	区域内がん登録率(期間:令和3年1月1日～12月31日)	-		計上法について(は)、Q48を記載すること。
500	悪性腫瘍の手術件数(期間:令和3年1月1日～12月31日)	-		計上法: 医科医療報酬点数表第2回第10部に掲げる悪性腫瘍手術をいう。(病理解析により悪性腫瘍であることが辨認された場合に限る。) 内部統計の吟味も含む。
501	がんに係る薬物療法のペース患者数(期間:令和3年1月1日～12月31日)	-		計上法: 経口または静注による全身投与を对象とする。ただし内分沁療法単独の場合を除く。内分沁療法を併用する場合は、内分沁療法を除く。
502	放射線治療のペース患者数(期間:令和3年1月1日～12月31日)	-		計上法: 医科医療報酬点数表第2回第12部の放線治療に含まれるものとする。ただし、血液照射は除く。なお、患者数については複数部位照射の場合でも、一通の放線治療であれれば1として計する。
503	緩和ケアチームの新規介入患者数(期間:令和3年1月1日～12月31日)	-		計上法: 患者数については同一入院期間内であれば複数回介入しても1人として計する。
504	4 人材育成等			
505	必要に応じグループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携する等により、Ⅳの4に定める要件を満たすこと。	-		
506	自施設において、ごく掲げる連携体制の範囲に規定する専門のため必要な人材の配置や組織的に取り組んでいます。	-		
507	特に、診療の質を高めるために必要な、各種専門家が協同する連携体制において連絡的に支援している。	-		
508	専門性の高い連携体制を構築するため、連携体制の実現度合いについて構造的に公表している。	-		
509	連携体制の実現度合いについて、専門性の高い連携体制を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師等がその専門性を十分に發揮できる体制を構築している。	-		
510	(1)			
511	(2)			
512	(3)			
513	「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成29年12月1日付け健発201)第2号厚生労働省健康局通知の別添1に準拠し、当該がん医療圏においてがん診療に携わる医師等を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道府県と協議の上、開催している。	-		
514	また、自施設の長、および自施設に所属する医師等が開催する研修及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師、歯科医師が当該研修を修了する体制を整えている。	-		
515	医療業界を児童青少年においてより適切に運営する。	-		
516	専門性に適する医師等による研修を実施している。	-		
517	うち当該研修会修了者数	-		
518	受講率	-		
519	1年以内に自施設に所属するがん診療に携わる医師、歯科医師の人数(読み替わる)	-		
520	うち当該研修会修了者数	-		
521	受講率	-		
522	医師等に研修を依頼し、緩和ケアに從事するその他の診療従事者についても委託を依頼している。	-		
523	研修終了時に、患者等の立場に對りわかりやすく説明している。	-		
524	(4)			
525	(5) のほか、当該がん医療圏において見込される関係性を構築し、がん医療の質の向上につながるよう、地域の診療従事者を対象とした研修を行っている。	-		
526	(6)			
527	自施設の診療従事者等が、がん治療の目的や意義、がん患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供している診療・患者支援の体制について説明している。	-		
528	自施設のがん診療に携わる全ての診療従事者が受講している。	-		
529	令和3年1月1日～12月31日の開催回数	-		
530	今後3年間の開催回数	-		
531	(7)			
532	院内の看護師を対象として、がん看護に関する総合的な研修を定期的に実施している。	-		
533	令和3年1月1日～12月31日の開催回数	-		
534	他の診療従事者についても、各々の専門に応じた研修を定期的に実施するたまは、他の施設等で実施されている研修に参加している。	-		
535	5 相談支援及び情報収集措置			
536	(1) がん相談支援センター			
537	がん相談支援センターを設置し、①、②の体制を確立した上で、グループ指定のがん診療連携拠点病院との連携と役割分担によりⅡの5の(1)に定める要件を満たすこと。	-		
538	① 建立がん相談センターにともなうがん相談支援組織を構築した専門性及び責任の相談支援に携わる者は1人以上2つ配置している。	-		
539	当該者のうち、1名は相談基盤研修(1)、2名は3名は基礎基盤研修(1)から(3)を修了している。	-		
540	がん相談支援センター相談員基礎研修(1)～(3)を修了した専門性の相談支援に携わる者の人数	-		538の専従者は含めないでください。
541	がん相談支援センター相談員基礎研修(1)～(2)のみを修了した専従の相談支援に携わる者の人数	-		誰も(あるいは)かたは(ない)で(いる)を記載ください。
542	がん相談支援センター相談員基礎研修(1)～(3)を修了した専従の相談支援に携わる者の人数	-		539～539の基礎研修(1)～(3)を修了した者は含めないでください。
543	540の専従の者は含めないでください。	-		540の専従の者は含めないでください。
544	(2) がん相談支援センターにおけるがん医療連携体制			540の専従でない者を記載ください。
545	① がん相談支援センターにおけるがん医療連携体制の構成員を構成する専門性及び責任の相談支援に携わる者は1人以上2つ配置している。	-		
546	がん相談支援センターにおけるがん医療連携体制の構成員を構成する専門性及び責任の相談支援に携わる者は1人以上2つ配置している。	-		
547	相談室に専門性を有する専門医団体による連携体制を構成している。	-		
548	院内及び地域の診療従事者等の担当を持つ、院外のがん患者及びその家族並びに地域の住民及び医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している。	-		
549	院内に見守りの専門医所にかかるがん相談支援センターについて分かりやすく表示している。	-		
550	院内の看護師や医療職員が、がん相談支援センターに隣接して配置している。	-		
551	院内に見守りの専門医所にかかるがん相談支援センターについて分かりやすく表示している。	-		
552	ア オ			
553	がん相談支援センターを初めて訪れた者の数を把握し、認知症の経験的な改善に努めている。	-		
554	令和3年1月1日～12月31日の期間に、がん相談支援センターを初めて利用した者の相談件数	-		
555	3			
556	院内及び地域の診療従事者等の担当を持つ、院外のがん患者及びその家族並びに地域の住民及び医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している。	-		
557	院内に見守りの専門医所にかかるがん相談支援センターについて分かりやすく表示している。	-		
558	院内の看護師や医療職員が、がん相談支援センターに隣接して配置している。	-		
559	院内に見守りの専門医所にかかるがん相談支援センターについて分かりやすく表示している。	-		
560	ア オ			
561	がん相談支援センターを初めて訪れた者の数を把握し、認知症の経験的な改善に努めている。	-		
562	令和3年1月1日～12月31日の期間に、がん相談支援センターを初めて利用した者の相談件数	-		
563	3			
564	(3) がんの最新の情報情報や予後を含めた情報を国立がん研究センターに提供している。	-		
565	今後の3年に定める要件を満たすこと。	-		
566	① 国立がん研究センターが実施する研修で認證を受けている、専従の院内がん登録の業務を担う者を1人以上配置している。	-		
567	院内がん登録の業務を担う者を1人以上配置している。	-		別紙16に詳細を記載してください。
568	初級認定者の業務を担っている、専従の院内がん登録の業務を担う者の人数	-		初級認定者一人以上は必要です。
569	3			
570	(4) 情報提供・普及・啓発			
571	① がんの最新の情報情報や予後を含めた情報を国立がん研究センターに提供している。	-		
572	今後の3年に定める要件を満たすこと。	-		
573	② 国立がん研究センターが実施する研修で認證を受けている、専従の院内がん登録の業務を担う者を1人以上配置している。	-		
574	院内がん登録の業務を担う者を1人以上配置している。	-		別紙16に詳細を記載してください。
575	初級認定者の業務を担っている、専従の院内がん登録の業務を担う者の人数	-		
576	3			
577	(5) 情報提供・普及・啓発			
578	ア イ ウ オ			
579	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
580	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
581	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
582	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
583	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
584	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
585	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
586	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
587	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
588	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
589	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
590	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
591	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
592	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
593	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
594	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
595	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
596	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
597	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
598	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
599	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
600	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
601	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
602	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
603	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
604	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
605	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
606	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
607	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
608	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
609	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
610	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
611	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
612	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
613	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
614	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
615	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
616	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
617	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
618	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
619	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
620	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
621	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
622	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
623	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
624	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
625	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
626	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
627	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
628	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
629	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
630	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
631	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
632	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
633	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
634	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
635	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
636	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
637	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
638	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
639	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
640	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
641	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
642	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
643	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
644	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
645	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
646	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当該都道府県にある都道府県癌登録病院が実施する相談支援に携わる者を1人以上2つ配置している。	-		
647	がん相談支援センターの相談室に携わる者は、Nの2の4に規定する当			

様式4(機能別)の該当指定要件のAのうち満たしていない項目について

記載の有無 あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間: 令和4年9月1日時点

※様式4(機能別)の該当指定要件のAのうち満たしていない項目について、満たしていない項目とその理由と今後の見通し等について具体的に記載してください。

※同じ番号については、様式4(機能別)シートのA列(左端)の番号を記入してください。

※令和4年9月2日以降に、要件の充足状況に変動があつた場合には、別途、都道府県を通じて文書で厚生労働省健康局がん・疾患対策課へ届け出してください。

順位番号	令和4年9月1日時点でも満たしていない要件 (同じ番号を入力すれば、自動入力されます。)	現状の説明	充足見込み時期
例 125	専任の放射線診断に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	令和4年9月1日時点では専任の医師は配置できていない(兼任で配置している)。	令和5年3月1日段階での整備を行う予定である。
例 180	放射線治療のべ患者数 (基準・年間200人以上)	令和3年〇月〇日～令和3年〇月〇日の期間、放射線治療機器の入れ替えを行ったため同期間の治療ができなかった。令和3年〇月〇日以降は通常通りの治療を行っている。また、直近1年間の治療実績は〇件であった。	令和4年は基準の治療数を達成できる見込み。
例 189	「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成29年12月1日付け勧奨第1201第2号厚生労働省健康局長通知の別添)に準拠し、当該がん医療においてがん診療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道府県と協議の上、開催している。	今般の新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、予定していた緩和ケア研修会が中止となっている。	今後〇月にWebでの開催を予定している。
例 216	国立がん研究センターによるがん相談支援センター相談員基礎研修(1)～(3)を修了した専従及び専任の相談支援に携わる者をそれぞれ1人ずつ配置している。	今般の新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、受講を予定していた基礎研修(3)の研修会が中止となっている。	今後〇月に受講予定である。
例 244	国立がん研究センターが実施する研修で中級認定者の認定を受けている、専従の院内がん登録の業務を担う者を1人以上配置している。	今般の新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、受講を予定していた中級者認定試験が中止となっている。	今般の新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、受講を予定していた中級者認定試験が中止となっていたが、今後〇月に受験予定である。
1 112	各地域のがん・生殖医療ネットワークに加入し、「小児・AYA世代のがん患者等の妊娠・産褥療法研究促進事業」へ参画するとともに、対象となる患者や家族には必ず治療開始前に情報提供している。	現在、福岡県において福岡県がん・生殖医療ネットワークの加入手続き等について準備中である。	令和4年12月に福岡県による準備完了後、速やかに加入する見込み。
2 183	当該がん医療圏に居住するがん患者の診療実績の割合(%)	同一がん医療圏内に複数の指定を受けているがん診療連携拠点病院が存在しているので2割は満たしていないが、①各診療実績数の基準は満たしている。	
3 218	がん相談支援センター相談員基礎研修(1)～(3)を修了した専従の相談支援に携わる者的人数	専従は配置していないが、がん相談支援センター相談員基礎研修(1)～(3)を終了した専従者を2名配置して充足している。	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			

専門とするがんの診療状況

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間: 令和3年1月1日～12月31日

我が国に多いがんと、希少がんを含むそれ以外のがんの各がん種において、

■診断および各種・各段階の治療における自施設の専門レベルを専門:◎、対応可:○、他施設へ紹介:△で記入してください。

・専門 (◎) : 当該がんを特に専門とする医師があり、周囲の施設から患者を積極的に集めている

・対応可 (○) : 積極的に患者を集めわけではないが、自施設で標準的な対応（診断・治療）が可能

・他施設へ紹介 (△) : 他の施設に紹介することで対応している

■診断あるいはいずれかの治療について、「専門◎」、あるいは「対応可○」と記載した場合は、2020年、2021年の治療開始数（院内がん登録の、症例区分20, 21, 30）を、

国立がん研究センターにおいて計算し提供しますので記入不要です。その際には、より詳細な区分で集計します。

■備考には、手術・放射線・薬物療法以外で行っている治療や特に当該がん種に関する窓口などがあれば、記載して下さい。

■「臨床試験の実績の有無」については、過去5年間の臨床試験の参加実績の有無についてご記入ください（有・無）。

■特に明記されていないところでは、各臓器でリンパ腫を除く各部位のがんについてお答えください。

注

専門=当該がんを特に専門とする医師があり、当該がんの患者を積極的に集めているレベル

対応可=当該がんの標準的な診断/治療が可能

臨床試験=過去の参加実績であり、現在実施中であるかは問わない。I～III相いずれでもよい。

成人(15歳以上)	診断 (生検等)	専門◎／対応可○／他施設へ紹介△ 初発例への治療			再発例 への治療	臨床試験の 実績の有無	治療開始数		担当診療科 (複数記載可)	備考 公開の窓口・特記事項など		
		手術	放射線	薬物療法			2020年	2021年				
							2020年	2021年				
脳腫瘍(リンパ腫以外)	◎	◎	◎	◎	◎	無	(良性性を別に集計表示)		脳神経内科、脳神経外科、放射線科			
脳腫瘍(リンパ腫)	◎	◎	◎	◎	◎	無			脳神経内科、脳神経外科、放射線科			
脊髄腫瘍	○	△	○	△	△	無			脳神経内科、脳神経外科、放射線科			
眼腫瘍(眼瞼以外)	○	△	○	△	△	無			眼科、放射線科			
鼻腔・副鼻腔がん	◎	◎	◎	◎	◎	無			耳鼻咽喉科、放射線科			
口腔がん	◎	◎	◎	◎	◎	無			耳鼻咽喉科、放射線科			
咽頭がん(上・中・下)	◎	◎	◎	◎	◎	無	(上・中・下咽頭を別に集計表示)		耳鼻咽喉科、放射線科			
喉頭がん	◎	◎	◎	◎	◎	無			耳鼻咽喉科、放射線科			
唾液腺がん	◎	◎	◎	◎	◎	無			耳鼻咽喉科、放射線科			
外耳道がん	◎	◎	◎	◎	◎	無			耳鼻咽喉科、放射線科			
頭頸部肉腫	◎	◎	◎	◎	◎	無			耳鼻咽喉科、放射線科			
甲状腺がん	◎	◎	◎	◎	◎	無			耳鼻咽喉科、放射線科			
乳がん	◎	◎	◎	◎	◎	無			乳腺外科 外科 放射線科			
気管がん	◎	○	◎	◎	◎	無			呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科			
非小細胞肺がん	◎	◎	◎	◎	◎	有			呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科			

小細胞肺がん	◎	◎	◎	◎	◎	無			呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科	
縦隔腫瘍(胸腺がん、胸腺腫)	◎	◎	◎	◎	◎	無	(胸腺がん、胸腺腫別に集計表)		呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科	
縦隔胚細胞腫瘍	◎	◎	◎	◎	◎	無			呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科	
縦隔腫瘍(それ以外の腫瘍)	◎	◎	◎	◎	◎	無			呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科	
中皮腫(胸膜)	◎	◎	◎	◎	◎	有			呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科	
中皮腫(腹膜)	◎	○	○	○	○	無			呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科	
食道がん	◎	◎	◎	◎	◎	無				
胃がん	◎	◎	○	◎	◎	無			消化器内科、消化器外科、放射線科	
小腸がん	◎	◎	◎	◎	◎	無			消化器内科、消化器外科、放射線科	
大腸がん(結腸・直腸)	◎	◎	◎	◎	◎	無			消化器内科、消化器外科、放射線科	
肛門・肛門管がん	◎	◎	◎	◎	◎	無			消化器内科、消化器外科、放射線科	
消化管間質性腫瘍(GIST)	◎	◎	○	◎	◎	無			消化器内科、消化器外科、放射線科	
消化管の神経内分泌腫瘍(NET／NEC)	◎	◎	○	◎	◎	無	(NET,NECは別に集計表示)		消化器内科、消化器外科、放射線科	
肝臓がん	◎	◎	○	◎	◎	無			消化器内科、消化器外科、放射線科	
胆のう・胆管がん	◎	◎	○	◎	◎	無	(肝内、肝外を別に集計表示)		消化器内科、消化器外科、放射線科	
すい臓がん(NET/NEC以外)	◎	◎	◎	◎	◎	無			消化器内科、消化器外科、放射線科	
すい臓の神経内分泌腫瘍(NET／NEC)	◎	◎	○	◎	◎	無	(NET,NECは別に集計表示)		消化器内科、消化器外科、放射線科	
腹膜偽粘液腫(他のがんの腹膜播種を除く)	◎	△	△	△	△	無			消化器内科、消化器外科、放射線科	
デスマイド腫瘍	◎	○	○	○	○	無			消化器内科、消化器外科、放射線科	
後腹膜肉腫	◎	○	○	○	○	無			消化器内科、消化器外科、放射線科	
腎がん	◎	○	○	○	○	無			泌尿器科、放射線科	
褐色細胞腫・傍神経節腫瘍(頭頸部以外)	◎	○	○	○	○	無			泌尿器科、放射線科、外科	
副腎皮質がん	◎	○	○	○	○	無			泌尿器科、放射線科、外科	
腎孟尿管がん・膀胱がん	◎	○	○	○	○	無	(腎孟・尿管・膀胱は別に集計表)		泌尿器科、放射線科	
精巣腫瘍	◎	○	○	○	○	無			泌尿器科、放射線科	
前立腺がん	◎	○	◎	◎	◎	無			泌尿器科、放射線科	
子宮頸がん(上皮性)	◎	○	○	○	○	無			婦人科、放射線科	
子宮体がん(上皮性)	◎	○	○	○	○	無			婦人科、放射線科	
子宮肉腫	◎	○	○	○	○	無			婦人科、放射線科	
卵巣がん、卵管がん、腹膜がん(上皮性)	◎	○	○	○	○	無			婦人科、放射線科	
卵巣胚細胞腫瘍	◎	○	○	○	○	無			婦人科、放射線科	
外陰がん	◎	○	○	○	○	無			婦人科、放射線科	
四肢・表在体幹の悪性軟部腫瘍	△	△	△	△	△	無			皮膚科、整形外科	
四肢・表在体幹の悪性骨腫瘍	△	△	△	△	△	無			皮膚科、整形外科	
皮膚の悪性黒色腫	△	△	△	△	△	無			皮膚科	
皮膚がん(悪性黒色腫以外)	△	△	△	△	△	無			皮膚科	
悪性リンパ腫	◎	○	○	○	○	無			血液内科、放射線科	
急性白血病(骨髓性、リンパ性)	◎	○	○	○	○	無			血液内科、放射線科	
慢性白血病(骨髓性、リンパ性)	◎	○	○	○	○	無			血液内科、放射線科	
多発性骨髄腫	◎	○	○	○	○	無			血液内科、放射線科	
原発不明がん	○	○	○	○	○	無			すべての診療科	
専門◎／対応可○／他施設へ紹介△							治療開始数		備考	

がん登録でコードがなく集計不可

小児(15歳未満)	診断 (生検等)	初発例への治療			再発例 への治療	臨床試験の 実績の有無	2020年	2021年	担当診療科 (複数記載可)	公開の窓口・特記事項など
		手術	放射線	薬物療法						
小児脳腫瘍	△	△	△	△	△	無			小児科無し	
小児眼腫瘍	△	△	△	△	△	無			小児科無し	
小児悪性骨腫瘍	△	△	△	△	△	無			小児科無し	
小児造血器腫瘍	△	△	△	△	△	無			小児科無し	
小児固形腫瘍(脳・目・骨以外)	△	△	△	△	△	無			小児科無し	

我が国に多いがんに対して、自施設で対応しない診療内容

記載の有無 なし

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間: 令和4年9月1日時点

我が国に多いがんに対して、自施設で対応しない診療内容があれば、下の表に状況を記載してください。

我が国に多いがん	自施設で対応しない診療内容について、該当するがん種と治療法の組み合わせに“〇”を入力してください。			自施設で対応していない診療内容についての連携先 (施設名・診療内容)
	手術療法	薬物療法	放射線療法	
(例)膵臓がん	〇			手術を要する膵臓がん患者は、連携する××病院に紹介している。 手術後の薬物療法については、自施設で対応している。
大腸がん				
肺がん				
胃がん				
乳がん				
前立腺がん				
肝がん				
胆のう・胆管がん				
膵臓がん				

カンファレンスについて

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

記載の有無 あり

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間: 令和4年9月1日時点

※この別紙は任意記載です。

整備指針Ⅱの2の(1)の①のウ及びVIの2の(1)の①のオに定めるカンファレンスのうち、iii及びivについて記載してください。

iii のカンファレンスについて、検討している症例・テーマ・参加する職種等について自由記載してください。

定期的な開催が現状難しい場合には、その理由を記載してください。

症例: 骨転移について

テーマ: 骨転移患者の移動方法について

参加者: 医師、看護師、リハビテーション部、薬剤師、MSW、公認心理師

骨転移患者への疼痛コントロール、どこまで動かせるか、どこまでの荷重など整形外科医師とリハビテーション部が話し合い、その情報を共有している

iv のカンファレンスについて、検討している症例・テーマ・参加する職種等について自由記載してください。

定期的な開催が現状難しい場合には、その理由を記載してください。

鎮静に関する検討会

検討内容

「開催目的」「治療抵抗性の苦痛の検討」「鎮静以外の緩和方法がない事への判断」「予後予測」「同意の有無(本人・家族の意向)」「実施する場合の鎮静の分類と薬剤」「鎮静に関するスタッフの意見」

参加者: 医師、看護師、リハビテーション部、薬剤師、MSW、公認心理師

緩和ケア外来の状況

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間: 令和4年9月1日時点

1	緩和ケア外来が設定されている（はい／いいえ）			はい	
2	緩和ケア外来の名称			緩和ケア外来	
3	担当診療科名			外科	
4	緩和ケア外来の頻度（○回／週）			2回／週	
5	主な診療内容・特色・アピールポイント			入院時に疼痛コントロールや精神支援を行なった患者の外来治療継続。初診患者へのスクリーニングを行い受診希望者もしくは主治医が必要と判断した場合に迅速に対応。	
6	緩和ケア外来の説明が掲載されているページの見出しどとアドレス ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し アドレス			
7	他施設でがんの診療を受けている、または、診療を受けていた患者さんを受け入れている（はい／いいえ）			はい	
■地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい／いいえ）				はい	
8	窓口の名称	地域医療連携室			
	電話番号	0120-77-6609	(内線)	5477	
■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい／いいえ）				はい	
9	窓口の名称	地域医療連携室			
	電話番号	0120-77-6609	(内線)	5477	
祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)					
10	緩和ケア外来の状況 期間: 令和3年1月1日～12月31日	以下については、自施設でがん診療を受けている患者について記載してください。			
		緩和ケア外来患者の年間新規診療患者数	25	人	
		緩和ケア外来患者の年間受診患者のべ数	303	人	
		以下については、緩和ケア外来受診まで自施設でがん診療を受けていなかった患者について記載してください。			
		地域の医療機関からの年間新規紹介患者数	10	人	
		地域の医療機関からの年間受診患者のべ数	32	人	

緩和ケア病棟の状況

記載の有無

なし

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間: 令和4年9月1日時点

※緩和ケア病棟が設定されている場合に限り、「2」以降を記載してください。

1	緩和ケア病棟を有している				
2	緩和ケア病棟入院料の届出・受理				
3	緩和ケア病棟の形式				
4	緩和ケア病棟の病床数	床			
5	緩和ケア病棟に入院した患者の申し込みから入院するまでの平均待機期間			日	
6	緩和ケア病棟の年間新入院患者数(令和3年1月1日～12月31日)			人	
7	緩和ケア病棟の年間死亡患者数(令和3年1月1日～12月31日)			人	
8	緩和ケア病棟の説明が掲載されているページの見出しとアドレス	見出し			
	※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください。	アドレス			
9	緩和ケア病棟を担当するスタッフの職種・人数(人)	(例) 医師	2	(例) 精神保健福祉士	1
10	※常勤・非常勤・専従・専任・兼任などに問わらず、緩和ケア病棟の診療に携わっているスタッフについて記載してください。				
11	■地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が設定されている(はい／いいえ)				
12	窓口の名称				
13	電話番号			(内線)	
14	問い合わせ窓口について掲載しているホームページ	見出し			
		アドレス			
15	■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている(はい／いいえ)				
16	窓口の名称				
17	電話番号			(内線)	
18	問い合わせ窓口について掲載しているホームページ	見出し			
		アドレス			
19	緩和ケア病棟の設備	例:家族用キッチン、家族室、談話室、ランドリー、デイルーム(食事や面会者との談話、ボランティアによるティーサービスがある)、特殊入浴室			
20	訪問看護ケアの有無	例:自施設で実施している、同一医療法人の施設で実施している、連携している訪問看護ケアステーションを紹介している、など			

地域緩和ケア連携体制

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時点: 令和4年9月1日時点

【緩和ケアに関する地域連携を推進するために、地域の施設が開催する多職種連携カンファレンスに参加した年間回数】

令和3年1月1日～12月31日 自施設が主催したもの（※共催を含む）

0回
6回

地域内の他施設が主催したもの

注1) 多職種連携カンファレンスとは「地域全体の医療を推進するため地域医療を支える多施設かつ多職種の連携強化と顔の見える関係づくりを目的として、緩和ケアに関わる多職種の医療・介護従事者等が一堂に会する場」とする。

注2) 患者の退院支援カンファレンス等、患者個人の情報共有のために開催したカンファレンスは含まない。

【緊急緩和ケア病棟について（都道府県がん診療連携拠点病院のみ）】

・緊急緩和ケア病床数

0床
0人

【神経ブロックについて】

・難治性疼痛に対する神経ブロックについて、自施設で実施している。

いいえ
0人

・神経ブロックの提供実施（令和3年1月1日～12月31日）

【自施設で実施できない場合には、連携している医療機関名等、神経ブロックの提供における連携協力体制を記入】

福岡大学病院、秋本病院へ連携している。

医療圏内の緩和ケア病棟や在宅緩和ケアが提供できる診療所などのマップやリストを記載してください。
緩和ケアセンターを有する病院は、緊急入院体制の整備にあたり、連携協力をされている在宅療養支援診療所等のリストについても記載すること。※個人名やPHSの番号が記載されていないことをご確認ください。

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙7を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

なし (あり/なし)

ファイル形式

エクセル (ワード/エクセル/パワーポイント/その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

【医療圏内の緩和ケア病棟や在宅緩和ケアが提供できる診療所などのマップやリスト】



【緊急入院体制の整備にあたり 連携協力を実行している在宅療養支援診療所等のリスト】

在宅緩和ケアネットワークの施設

(在宅療養支援診療所)

薬院内科循環器クリニック
福岡みなと在宅医療クリニック
天神けやきクリニック
としまファミリーカクリニック
HCUたけとみクリニック
とみた内科クリニック
がんこクリニック
つみクリニック福岡
ホワイト花満クリニック
在宅療養支援クリニック ここはる
清水クリニック
四つ葉在宅クリニック
むらおかホームクリニック

みんなの福岡クリニック
にのさかクリニック
まつおクリニック
伊東内科小児科医院
あおばクリニック
きむらしろうクリニック
おくホームクリニック
さくらのクリニック
あきよし医院
かんた内科医院
たなか夏樹医院
志免王子クリニック
あゆ在宅クリニック

（訪問看護ステーション）

訪問看護ステーション風和里	香住ヶ丘リハビリ訪問看護ステーション
アイエック訪問看護ステーション博多	在宅リハビリステーションTOMO博多
アイエック訪問看護ステーション 西	筑紫医師会訪問看護ステーション
アイエック訪問看護ステーション(南エリア)	25訪問看護ステーション
アップルハート訪問看護ステーション福岡西	ひらお訪問看護ステーション
ウエルケア訪問看護ステーション	福岡赤十字訪問看護ステーション
エコープ訪問看護ステーション福岡南	メディケア訪問看護リハビリテーション

緩和ケアチームのメンバー

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名 : 福岡県済生会福岡総合病院

期間 : 令和4年9月1日時点

緩和ケアチームのメンバーについて記載してください。

注1) 様式4のIIの2の(2)診療従事者の回答と齟齬がないように記載してください。

注2) 研修医は除いてください。

注3) 常勤とは、原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。

緩和ケアチームの医師について

	役割	人数	診療科の内訳
例	身体症状の緩和に携わる医師	3	麻酔科2名、消化器外科1名
1	身体症状の緩和に携わる医師	6	外科2名、消化器内科1名、呼吸器内科1名、婦人科1名、血液内科1名
2	精神症状の緩和に携わる医師	1	心療内科1名

医師以外の診療従事者について

	職種	常勤 /非常勤	専門資格(取得している場合)
例	管理栄養士	常勤	がん病態栄養専門管理栄養士
1	看護師	常勤	かん性疼痛看護、緩和ケア、かん化字療法看護、かん放射線療法看護、乳かん認定看護師
2	薬剤師	常勤	外来がん治療認定薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師
3	公認心理師	常勤	公認心理師
4	管理栄養士	常勤	かん病態栄養専門管理栄養士、臨床栄養代謝専門療法士、かん専門管理栄養士研修指導師
5	理学療法士	常勤	理学療法士
6	作業療法士	常勤	作業療法士
7	社会福祉士	常勤	社会福祉士、精神保険福祉士
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			

患者及び家族が利用可能なインターネット環境

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間: 令和4年9月1日時点

1	患者が利用できるインターネット環境がある。	はい	(はい／いいえ)
	上記は無料で利用できる。	はい	(はい／いいえ)
2	患者の家族が利用できるインターネット環境がある。	はい	(はい／いいえ)
	上記は無料で利用できる。	はい	(はい／いいえ)
患者・家族がインターネットを利用できる場所について			
ロビーで利用できる。			はい
上記は無料で利用できる。			はい
外来で利用できる。			はい
3	上記は無料で利用できる。	はい	(はい／いいえ)
	個室でのみ利用できる。	いいえ	(はい／いいえ)
上記は無料で利用できる。(※1)			いいえ
個室又は大部屋に閑わらず概ね全ての病室において利用できる。(※2)			はい
上記は無料で利用できる。			はい
4	インターネット環境が医療機器等に干渉しないよう、各種のガイドラインを参照している。	いいえ	(はい／いいえ)
	4が”はい”的に参考としたガイドライン名を以下の欄に記入してください。		

※1 インターネット利用の有無で入院費が変動しない場合は”はい”を選択してください。

※2 集中治療室等の特定の病室を除く多数の病室において利用できる場合は”はい”を選択してください。

がん患者の特性に応じた支援

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名 : 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間 : 令和4年9月1日時点

1	自施設でAYA世代のがん患者の支援を行っている 「はい」の場合は、自施設で行うことができる支援の内容を記載してください。 (例) AYA世代のがん患者の就労支援として月に●回の頻度で社労士の訪問を受けている。 就労支援に関しては、すべての世代を対象に6.を実施している。	はい (はい／いいえ)
2	自施設でAYA世代のがん患者に関する支援が行えない場合は、患者を紹介する等、AYA世代の支援で連携する施設名を記載してください。 小児科がないためYoung Adultの場合となるが、同世代の患者ピアサポートに関して、これまで九州がんセンター、NPO法人「オレンジティ」など、若年向の組織へ連携を図っている。	
3	多職種からなるAYA支援チームを設置している。 「はい」の場合は、AYA支援チーム構成員の職種を記載してください。	いいえ (はい／いいえ)
4	自施設で、がん・生殖医療に関する意思決定支援を行うことができる 診療従事者の育成・配置を行っている。 「はい」の場合は、意思決定支援を行うことができる診療従事者の育成に関する取組状況を記載してください。	はい (はい／いいえ)
5	院内外の勉強会による職員の育成を図っている。	
6	がん患者の妊娠性の温存に関する支援について、自施設もしくは連携施設への紹介で実施している場合に内容を記載してください。 がん相談支援センター、がん治療サポートチーム等を通じて収集された情報を元に、がん患者の妊娠性の温存に関する支援の必要性がある場合、婦人科・乳腺科医師を中心とした妊娠性温存問題担当のチームが、診療科担当医をサポートしている。当院では「妊娠性温存療法」は施行していないので、担当医・チームを通じて、専門施設へ紹介、医療提供をお願いしている。	
7	がん患者の就学に関する支援について自施設もしくは連携施設への紹介で実施している場合に内容を記載してください。 小児科がないため、就学に関する相談実績はないが、大学生・専門学校生などで相談があった場合は、九州がんセンター「AYA支援チーム」へ個別に相談し、連携を図るようにしている。	
8	がん患者の就業に関する支援について自施設もしくは連携施設への紹介で実施している場合に内容を記載してください。 就業中の患者に対して、福岡県社労士会と連携し、院内で年4回「社労士相談会」を開催するほか、希望者へは随時個別相談の機会を設けている。また、電話相談を希望した場合、福岡県の「就労相談専用窓口」ダイヤルを紹介している。 求職中の患者に対しては、ハローワークの就職支援ナビゲーターあてに紹介している。	
	がん患者のアピアランスケアに関する支援について自施設もしくは連携施設への紹介で実施している場合に内容を記載してください。 費用助成に関して、福岡県のアピアランスケア推進事業を紹介している。ウイッグは、地域の事業者に関する情報を提供している。また、年1回、民間企業と連携し、院内で「アピアランスケア相談会」を開催している。	
	高齢のがん患者に関して、自施設で実施している機能評価体制について、記載してください。 必要に応じて、多職種機能チームである「がん治療サポートチーム(CST)」が、意思決定支援、認知症・谵妄状態評価も含め、機能評価システム等(Q8)を用いて、サポートしている。医師、認知症・せん妄チームDST、緩和ケアチーム、化学療法チーム等を包括したチームネットワーク体制が、当院の「がん治療サポートチームCST」です。	

相談支援センターの相談件数と相談支援内容

記載の有無	あり
※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。	
病院名: 福岡県済生会福岡総合病院	
期間: 令和3年1月1日～12月31日	

※「自施設の患者・家族」とは、貴院で診療を受けている患者・家族、および以前に貴院で診療を受けた患者・家族のことをさしています。

「他施設の患者・家族」とは、貴院以外の医療機関で診療を受けている患者・家族、および以前に貴院以外の医療機関で診療を受けていた患者・家族のことをさしています。

●年間のべ相談件数

上記1件あたりの平均対応時間	平均	2,207	件
		48	分
●年間の自施設の新規患者の相談件数		360	件

1. 相談件数(新規相談件数に限る)

	相談者	計
1	自施設の患者・家族	237
2	1以外の患者・家族・地域住民等	44
3	他の医療機関等の職員	79
	合計	360

●以下の内容についてそれぞれ相談件数を記載してください。

※1回の相談で複数の内容について相談された場合は、それぞれの項目に計上して構いません。

なお、項目の番号については、厚生労働省研究費補助金「がん対策における進歩管理指標の策定と計測システムの確立に関する研究班」が作成した「相談記入シート」を参考しています。

https://ganjoho.jp/med_pro/consultation/support/registration_sheet.html

	相談内容	件数	相談内容	件数
01.がんの治療	556	17-1.社会生活(仕事・就労)	272	
02.がんの検査	49	17-2.社会生活(学業)	0	
03.症状・副作用・後遺症	810	18.医療費・生活費・社会保障制度	338	
03-01.妊娠性・生殖機能	2	19.補完・代替医療	16	
03-01.アビアランス	12	20.生きがい・価値観	77	
04.セカンドオピニオン(一般)	21	21.不安・精神的苦痛	956	
05.セカンドオピニオン(受け入れ)	1	22.告知	61	
06.セカンドオピニオン(他へ紹介)	8	23.医療者との関係・コミュニケーション	538	
07.治療実績	0	24.患者-家族間の関係・コミュニケーション	850	
08.臨床試験・先進医療	4	25.友人・知人・職場との関係・コミュニケーション	186	
09.受診方法	257	26.患者会・家族会(ピア情報)	139	
10.転院	34	88.不明	1	
11.医療機関の紹介	155	99.その他(下段に自由記載してください)		
12.がん予防・検診	3		5	
13.在宅医療	554		5	
14.ホスピス・緩和ケア	1,289		3	
15.食事・服薬・入浴・運動・外出など	365			
16.介護・看護・養育	293			

がん相談支援センターの問い合わせ窓口・がん患者カウンセリングの設定

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

記載の有無 あり

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間: 令和4年9月1日時点

1	相談支援センターの名称	がん相談支援センター				
2	問い合わせ先電話番号	092-771-8151	(内線)	2795	2154	
3	■対面相談の実施（実施/未実施）	実施				
	予約の要否（必要/不要）	不要				
	■電話相談の実施（実施/未実施）	実施				
電話番号	092-771-8151	(内線)	2795	2154		
4	予約の要否（必要/不要）	不要				
	■FAX相談の実施（実施/未実施）	未実施				
	FAX番号					
5	■電子メール相談の実施（実施/未実施）	実施				
	メールアドレス ※個人のメールアドレスは記載しないでください	gansoudan@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp				

以下は、都道府県がん診療連携拠点病院の場合のみ記入してください。

1	がん患者カウンセリングが設定されている（はい/いいえ）					
2	外来の名称					
3	主な内容・特色					
4	外来の説明が掲載されているページの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し				
		アドレス				
5	■地域の患者・家族向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）					
	窓口の名称					
	電話番号		(内線)			
6	■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）					
	窓口の名称					
	電話番号		(内線)			

がん相談支援センターの体制

記載の有無 あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間: 令和4年9月1日時点

注1)様式4的回答と齟齬がないようにすること。

注2)常勤とは、原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。

注3)「専従」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

■がん対策研究所による「相談支援センター相談員研修・基礎研修」について

対象者	人数
がん対策情報センターによる「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)～(3)の修了者数	3
うち相談支援に携わる者の専任の人数 (専任かつ専従でない者)	0
うち相談支援に携わる者の専従の人数	2
がん対策情報センターによる「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)および(2)のみの修了者数	0
うち相談支援に携わる者の専任の人数 (専任かつ専従でない者)	0
うち相談支援に携わる者の専従の人数	0
がん対策情報センターによる「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)のみの修了者数	0
うち相談支援に携わる者の専任の人数 (専任かつ専従でない者)	0
うち相談支援に携わる者の専従の人数	0
転院や退院調整の業務担当とは別に、がん相談に専従している相談支援センターの相談員数	2

■定期的な知識の更新のための研修等

対象者	人数
①がん相談支援センターに配置されている相談支援に携わる者の中、がん対策研究所による がん相談支援センター相談員継続研修を受講した人数	3
②相談支援に携わる者のうち、上記以外の研修を受講した人数	3
②の具体例 認定がん相談支援センターの認定要件にある研修(相談の質研修等)	

■相談支援センターの体制について

※以下の1～6に該当する人数は必ず記載すること。その他の体制についてはそれぞれ記載すること。

※両立支援コーディネーター研修の受講は指定要件ではありません。事業の参考とさせていただきます。

※専従・専任・その他については、当該の相談支援に携わる者が8割以上当該業務に従事している場合には専従、5割以上8割未満の場合には専任、5割未満の場合にはその他としてください。

	職種	専従/専任/その他	人数	うち常勤の 人数	両立支援コーディネー ター研修を受講した人 数
例	看護師	専従	3	2	3
例	社会福祉士	専任			
例	その他	その他			
1	社会福祉士	専従	1	1	1
2	社会福祉士	専任			
3	社会福祉士	その他	1	1	1
4	精神保健福祉士	専従			
5	精神保健福祉士	専任			
6	精神保健福祉士	その他			
7	看護師	専従	1	1	1
8	看護師	専任			
9	看護師	その他			
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					

■相談支援センターの体制の「職種」で「その他」を選んだ場合、下記に詳細を記入してください。

職種
例 ピアソーター(上記リスト9番)
例 社会保険労務士(上記リスト12番)

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

■がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問することができる体制

(必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む)

がん患者及びその家族ががん相談支援センターを訪問できる体制に関する、具体的な取り組み状況を記入してください。

がん相談支援センターの3つ折りパンフレットを、がん診療を行う各外来の診療ブースおよび外来窓口、診断書窓口に配置している。

エレベーター前のデジタルサイネージ、一般病棟、外来フロアに、がん相談支援センターのポスターを掲示している。

入院案内のパンフレットに、がん相談支援センターに関する説明を掲載している。

■がん相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制

がん相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制に関する、具体的な取り組み状況を記入してください。

がん相談支援センターの相談記録は、国立がん研究センターが作成した基本形式である「相談記入シート」に入力しており、その記入欄に「9.相談者からの反応」を選択するようになっている。このため、毎回、相談終了前に、相談利用に対する反応を確認し、その内容を入力している。

院内外のがん患者等からの相談に対応するための連携協力体制の状況

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間: 令和4年9月1日時点

●就労に関する連携協力体制

①専門家による相談会の開催回数(令和3年1月1日～12月31日)

②専門家の職種(例・社労士、キャリアコンサルタント等を全て記載)

定期的かつ月1回未満
社労士

(複数回答可)

●アピアランスケアに関する連携協力体制

アピアランスに関する相談を院内で対応している

はい
乳腺外来、婦人科外来、がん治療センター外来、がん相談支援センター、CST

(はい/いいえ)

院内でアピアランスケアに関する相談・支援を行っている部署

相談・支援の件数(がん相談支援センターでの件数は除く)

40

●がん患者の妊よう性温存に関する連携協力体制

①相談に対応している部署(例:がん相談支援センター、化学療法室等)

①-1意思決定支援に関わる医療従事者による相談会を院内で実施している

①-2意思決定支援に関わる医療従事者による相談を院外の施設に依頼している

乳癌外来、婦人科外来、がん治療センター外来、がん相談支援センター、CST
(複数回答可)

(はい/いいえ)

②がん患者の妊よう性温存のための生殖医療を専門とする施設へ紹介した患者の人数

③自治体のがん・生殖医療ネットワークを通じて、生殖医療を専門とする施設に紹介している

0
(期間: 令和3年1月1日～12月31日)

(はい/いいえ)

③-1紹介先施設名(複数回答可)

いいえ
(複数回答可)

(はい/いいえ)

④他の自治体のがん・生殖医療ネットワークを通じて、生殖医療を専門とする施設に紹介している

いいえ
(複数回答可)

(はい/いいえ)

④-1紹介先施設名(複数回答可)

はい
(はい/いいえ)

(はい/いいえ)

⑤-1研修会を院内で実施している

⑤-2学会等の研修会への参加を励行している

はい
(はい/いいえ)

(はい/いいえ)

はい
(はい/いいえ)

(はい/いいえ)

●がん患者の自殺リスクに対する体制

院内で自殺リスクに対する研修を開いている。

はい

(はい/いいえ)

●患者サロン等の開催状況(令和3年1月1日～12月31日)

①患者サロンの開催件数

12
(複数回答可)

(はい/いいえ)

②患者会の開催件数

2
(複数回答可)

(はい/いいえ)

②-1患者会のうち、オンラインで開催した件数

0
(複数回答可)

(はい/いいえ)

③サポートグループが主催した研修の開催件数

0
(複数回答可)

(はい/いいえ)

●患者団体との連携協力体制

*患者団体の参加対象者が特定の疾患に限られない場合には、「すべてのがん」と記載してください。

*「紹介の可否」には、患者さんや家族から、その団体について問い合わせがあった際、具体的な紹介ができるかどうかについて記載してください。

連携協力しているがん患者団体	具体的な連携協力の内容	紹介の可否
団体名	参加対象者の 疾患名	
例 ○○○○○会	造血器腫瘍	患者会と共同で、月1回、患者サロンを開催している。
例 ○○○○○会	乳がん	相談支援センターで、週1回、2名ずつ、ピアソローパーとして活動してもらっている。
例 ○○○○○会	すべてのがん	年4回開催している市民講演会の開催への協力、また、演者として参加してもらっている。
1 がん・バッテン・元気隊	すべてのがん	オンラインサロンを月1回、第4か第5(土)で開催されており、ホームページでの確認、事前申込が必要
2 あけぼの福岡	乳がん	オンラインでの交流会など開催されている
3 キャンサーサポート	すべてのがん	月1回交流会の案内をしている
4 がんのママをささえ隊ネットワーク	すべてのがん	月1回交流会の案内をしている
5 グループ・ネクサス・ジャパン	悪性リンパ腫	福岡支部は不定期、ニュースレターへ掲載されており案内している
6 血液情報広場 つばさ	血液がん・血液難病	全国規模で会員制で運営されており、案内している
7 りあん	乳がん	貝塚病院にて第3金15:00～17:00開催されている
8 福岡筑声会	喉頭がん 食道がん	九州がんセンターにて木(土)13:00～15:00発声練習と会合をされており、訓練や出会いの場として対象者に紹介している
9 市民ホスピス・福岡分科会 がんを語るつどい	すべてのがん	毎月26日18:00～21:00で家族・遺族も参加可となっている
10 中皮腫・アスペスト疾患 患者と家族の会 福岡支部	アスペスト疾患	第2・第3水13:30～15:30開催されている
11 パシンキャンジャパン	肺臓がん	不定期のイベントも含めて対象者へ紹介をしている
12 済生会福岡総合病院 つながり隊	すべてのがん	当院にて第3金14:00～15:30、職員からの紹介で対象者に案内している

がんの診療に関連した専門外来の問い合わせ窓口

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名 : 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間：令和4年9月1日時点

※ がん診療に関連した専門外来の「対象となる疾患名」の項目は、以下の表の疾患名を用いて記載してください。

表の中に、該当する病名がない場合は、その病名を直接記載してください。

また、すべてのがん種が対象となる場合は、「すべてのがん」と記載してください。

※ がん患者カウンセリングについては、別紙12の下段に記載してください。

頭部／頸部	消化管	泌尿器	女性	その他
脳腫瘍 脊髄腫瘍 眼・眼窩腫瘍 口腔がん 咽頭がん・喉頭がん 甲状腺がん	食道がん 胃がん 小腸がん 大腸がん GIST	腎がん 尿路がん 膀胱がん 副腎腫瘍	子宮頸がん・子宮体がん 卵巣がん その他の女性生殖器がん	後腹膜・腹膜腫瘍 性腺外胚細胞腫瘍 原発不明がん
胸部	肝臓 ／胆道 ／脾臓	男性	皮膚／骨と軟部組織	小児
肺がん 乳がん 縦隔腫瘍 中皮腫	肝がん 胆道がん 脾がん	前立腺がん 精巣がん その他の男性 生殖器がん	皮膚腫瘍 悪性骨軟部腫瘍 血液・リンパ 造血器腫瘍	小児脳腫瘍 小児の眼・眼窩腫瘍 小児悪性骨軟部腫瘍 その他の小児固形腫瘍 小児造血器腫瘍

1. 【ストーマ外来】の問い合わせ窓口

1	ストーマ外来が設定されている（はい／いいえ）			はい
2	上記外来の名称		ストーマ外来	
3	対象となるストーマの種類		コロストーマ	
4	対象となる疾患名		大腸癌、イレウス、潰瘍性大腸炎、GIST、消化管穿孔	
5	主な診療内容・特色		患者の症状、体質に合わせたストーマケアに関する様々な相談対応を皮膚・排泄ケア認定看護師中心に行っている。	
6	ストーマ外来の説明が掲載されているページの見出しがアドレス	見出し		
	※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		アドレス	
7	他施設でがんの診療を受けている、または、診療を受けていた患者さんを受け入れている（はい／いいえ）			いいえ
■地域の患者・家族向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい／いいえ）				はい
8	窓口の名称	がん相談支援センター		
	電話番号	092-771-8151	(内線)	2795
			2154	
■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい／いいえ）				はい
9	窓口の名称	がん相談支援センター		
	電話番号	092-771-8151	(内線)	2795
			2154	

2. 【リンパ浮腫外来】の問い合わせ窓口

1	リンパ浮腫外来が設定されている	はい	(はい／いいえ)	※リンパ浮腫の研修修了者とは、厚生労働省後援のがんのリハビリテーション研修におけるリンパ浮腫研修運営委員会が策定した、「専門的なリンパ浮腫研究に関する教育要綱」にそった研修（講義45時間以上）を修了した医療従事者のこという。
2	研修を修了した担当者が配置されている※	はい	(はい／いいえ)	
3	上記外来の名称	リンパ浮腫看護外来		

4	対象となる疾患名	乳がん、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、その他の女性生殖器がん					
5	リンパ浮腫の診療担当科	乳腺外科外来(基本窓口)、婦人科外来					
6	リンパ浮腫の入院治療に対応している	対応していない(対応している/対応していない)					
7	主な診療内容・特色	リンパ浮腫の病因と病態、リンパ浮腫治療方法の概要の説明、セルケアの方法、日常生活上の注意点、感染症発生時の対処方法の指導、及び弹性着衣選定や装着指導等を行っている。専門的ドレナージやリンパ管静脈吻合術が必要と判断される場合は、他院と連携を行なっている					
8	リンパ浮腫外来の説明が掲載されているページの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し					
		アドレス					
9	他施設でがんの診療を受けている、または診療を受けていた患者さんを受け入れている(はい/いいえ)						いいえ
10	■地域の患者・家族向けの問い合わせ窓口が設定されている(はい/いいえ)						はい
	窓口の名称	がん相談支援センター					
	電話番号	092-771-8151		(内線)	2795	2154	
11	■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている(はい/いいえ)						はい
	窓口の名称	がん相談支援センター					
	電話番号	092-771-8151		(内線)	2795	2154	

3. 【禁煙外来】の問い合わせ窓口

1	禁煙外来が設定されている(はい/いいえ)						いいえ
2	上記外来の名称						
3	主な診療内容・特色						
4	禁煙外来の説明が掲載されているページの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し					
		アドレス					
5	他施設でがんの診療を受けている、または診療を受けていた患者さんを受け入れている(はい/いいえ)						
6	■地域の患者・家族向けの問い合わせ窓口が設定されている(はい/いいえ)						
	窓口の名称						
	電話番号			(内線)			
7	■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている(はい/いいえ)						
	窓口の名称						
	電話番号			(内線)			

4. 【アスベスト外来】の問い合わせ窓口

1	アスベスト外来が設定されている(はい/いいえ)						いいえ
2	上記外来の名称						
3	主な診療内容・特色						
4	アスベスト外来の説明が掲載されているページの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し					
		アドレス					
5	他施設でがんの診療を受けている、または診療を受けていた患者さんを受け入れている(はい/いいえ)						
6	■地域の患者・家族向けの問い合わせ窓口が設定されている(はい/いいえ)						
	窓口の名称						

	電話番号		(内線)			
7	■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）					
	窓口の名称					
	電話番号		(内線)			

5. 遺伝性腫瘍に関連した専門外来の問い合わせ窓口

1	遺伝性腫瘍外来が設定されている（はい/いいえ）				いいえ	
2	上記外来の名称					
3	主な診療内容・特色					
4	遺伝性腫瘍外来の説明が掲載されているページの見出しとアドレス <small>※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください</small>	見出し				
5	他施設でがんの診療を受けている、または診療を受けていた患者さんを受け入れている（はい/いいえ）					
6	■地域の患者・家族向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）					
	窓口の名称					
	電話番号		(内線)			
7	■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）					
	窓口の名称					
	電話番号		(内線)			

6. その他のがん診療に関連した専門外来の問い合わせ窓口

1) 外来の問い合わせ窓口 ※枠内に専門外来の名称を記載してください

1	対象となる疾患名					
2	主な診療内容・特色					
3	上記の外来の説明が掲載されているページの見出しとアドレス <small>※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください</small>	見出し				
4	他施設でがんの診療を受けている、または診療を受けていた患者さんを受け入れている（はい/いいえ）					
5	■地域の患者・家族向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）					
	窓口の名称					
	電話番号		(内線)			
6	■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）					
	窓口の名称					
	電話番号		(内線)			

2) 外来の問い合わせ窓口 ※枠内に専門外来の名称を記載してください

1	対象となる疾患名					
2	主な診療内容・特色					
3	上記の外来の説明が掲載されているページの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し				
		アドレス				
4	他施設でがんの診療を受けている、または診療を受けていた患者さんを受け入れている（はい/いいえ）					
5	■地域の患者・家族向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）					
	窓口の名称					
	電話番号	(内線)				
6	■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）					
	窓口の名称					
	電話番号	(内線)				

3) [] 外来の問い合わせ窓口 ※枠内に専門外来の名称を記載してください

1	対象となる疾患名					
2	主な診療内容・特色					
3	上記の外来の説明が掲載されているページの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し				
		アドレス				
4	他施設でがんの診療を受けている、または診療を受けていた患者さんを受け入れている（はい/いいえ）					
5	■地域の患者・家族向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）					
	窓口の名称					
	電話番号	(内線)				
6	■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）					
	窓口の名称					
	電話番号	(内線)				

1 追加で記載を希望する外来がある場合には、以下に疾患名等の情報を自由に記載してください。

院内がん登録部門の体制

記載の有無

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。
「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

あり

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間: 令和4年9月1日時点

※院内がん登録業務に携わっているスタッフを記載してください。

注1)様式4の回答と齟齬がないようにすること。

注2)常勤とは原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。

注3)「専従」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

	資 格	診療情報管理業務の経験年数(年)	院内がん登録業務の経験年数(年)	常勤/非常勤	院内がん登録業務についての専従/専任/その他	がん対策情報センターによる院内がん登録実務 初級者研修会・中級者研修会の修了状況 研修会名・受講状況
例	診療情報管理士	4	2	常勤	専従(8割以上)	初級認定者(みなし含む)
例	なし	1	1	非常勤	専任(5割以上8割未満)	初級認定試験・受験なし
1	診療情報管理士	21	17	常勤	専任	中級認定者
2	診療情報管理士	16	12	常勤	専従	中級認定者
3	診療情報管理士	11	11	常勤	専任	初級認定者(みなし含む)
4	診療情報管理士	15	12	常勤	専任	初級認定者(みなし含む)
5	診療情報管理士	9	2	常勤	専任	初級認定者(みなし含む)
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

臨床試験・治験の実施状況および問い合わせ窓口

記載の有無 あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名 : 福岡県済生会福岡総合病院

1. 臨床試験・治験の問い合わせ窓口

令和4年9月1日時点

1) 【臨床試験(治験を除く)】の問い合わせ窓口

■臨床試験に参加していない地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口の有無について		担当している診療科が窓口となっている								
※臨床試験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。										
問い合わせへ対応している方法に○をつけてください。		窓口	<input checked="" type="radio"/>	電話	<input checked="" type="radio"/>	FAX				
窓口の名称										
1 上記の窓口の説明が掲載されているページの見出しがアドレス ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください										
見出し										
アドレス										
電話番号		092-771-8151	(内線)							
■臨床試験に参加していない地域の医療機関向けの問い合わせ窓口について		担当している診療科が窓口となっている								
※臨床試験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。										
問い合わせへ対応している方法に○をつけてください。		窓口	<input checked="" type="radio"/>	電話	<input checked="" type="radio"/>	FAX				
窓口の名称										
2 上記の窓口の説明が掲載されているページの見出しがアドレス ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください										
見出し										
アドレス										
電話番号		092-771-8151	(内線)							

2) 【治験】の問い合わせ窓口

■治験に参加していない地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口について		治験専用の窓口がある						
※治験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。								
問い合わせへ対応している方法に○をつけてください。		窓口	<input checked="" type="radio"/>	電話	<input checked="" type="radio"/>	FAX		
窓口の名称		治験管理室						
1 上記の窓口の説明が掲載されているページの見出しがアドレス ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください								
見出し		来院の方へ 治験について						
アドレス		https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp/patient/p_chiken2/index.html						
電話番号		092-771-8151	(内線)		5509			
■治験に参加していない地域の医療機関向けの問い合わせ窓口について		治験専用の窓口がある						
※治験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。								
問い合わせへ対応している方法に○をつけてください。		窓口	<input checked="" type="radio"/>	電話	<input checked="" type="radio"/>	FAX		
窓口の名称		治験管理室						
2 上記の窓口の説明が掲載されているページの見出しがアドレス ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください								
見出し		医療関係者の方へ 治験管理室						
アドレス		https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp/patient/p_chiken2/index.html						
電話番号		092-771-8151	(内線)		5509			

医療の質の改善の取組について

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名：福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間：令和4年9月1日時点

QI研究への参加状況

国立がん研究センターのQI研究に参加している

はい

■自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、患者QOLについて把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じる体制について、必要に応じて図表などを活用し、具体的に記載すること。

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙19を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無 なし (あり／なし)

ファイル形式 (ワード／エクセル／パワーポイント／その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

【自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、患者QOLについて把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じる体制】

PLAN・がん治療センター、がん相談支援室等が中心となり、具体的行動の立案

DO・院内診療科との連携

・院内、地域がん登録

・地域医療機関との連携

・研究会、研修会、市民公開講座の開催等

・キャンサーボード支援

・がん患者、家族の会開催

CHECK・がん治療センター会議の開催による、実績や活動の評価、がん相談状況の把握、研修会、市民公開講座等による、患者家族のアンケートによる評価

ACTION・幹部会議、診療会議、運営会議においてがん対策に対して共有し組織的な改善策の構築

医療安全管理等の体制について

記載の有無 あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間: 令和4年9月1日時点

はい (はい/いいえ)

①-1 医療安全管理部門が配置されている。

①-2 医療安全管理部門がある場合に、そのメンバーについて記載してください。(①-1が"はい"の場合のみ、①-2に回答してください。)

注1)研修医は除いてください。

注2)常勤とは、原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。

注3)「専従」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいいいます。

注4)「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」(平成19年3月30日付け医政発0330019号厚生労働省医政局長通知及び薬食発第0330009号厚生労働省医薬食品局長通知)に基づく研修を想定しています。

	職種	常勤 /非常勤	専従/専任/その他	医療安全に関する研修の受講状況(注4)		
				受講した研修名	研修主催者名	修了日
1	部門長	医師	常勤	専任(5割以上8割未満)	医療安全管理者養成講習会(日本病院会)	平成30年12月1日
2		看護師	常勤	専従(8割以上)	福岡県看護協会医療安全管理者養成研修	平成29年10月8日
3		看護師	常勤	専従(8割以上)	医療事故・紛争研究会医療安全管理者養成研修	平成26年10月26日
4		薬剤師	常勤	専任(5割以上8割未満)	医薬品安全管理責任者等講習会(日本病院薬剤師会)	平成30年7月6日
5		医師	常勤	兼任(5割未満)		
6		医師	常勤	兼任(5割未満)		
7		医師	常勤	兼任(5割未満)		
8		医師	常勤	兼任(5割未満)		
9		医師	常勤	兼任(5割未満)		
10		その他	常勤	兼任(5割未満)		

■上記一覧において「その他」を選んだ場合、下記に詳細を記入してください。

	職種
例	臨床工学技士(上記リスト6番)
1	事務部(上記リスト10番)
2	
3	
4	
5	

②第三者による評価に関する状況について記載してください。

	活用した第三者評価	最終評価日	有効期間 (定められている場合のみ記)
例	JCI	平成30年〇月〇〇日	令和5年〇月〇〇日
例	ISO9001	令和元年〇月〇〇日	令和6年〇月〇〇日
例	日本医療機能評価機構 病院機能評価	平成29年〇月〇〇日	令和6年〇月〇〇日
1	ISO9001	令和4年2月22日	2023/3/19
2			
3			
4			
5			

緩和ケアセンターのメンバー(医師および医師以外の診療従事者)

記載の有無 なし

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間: 令和4年9月1日時点

緩和ケアセンターのメンバーについて記載してください。

注1) 様式4の回答と齟齬がないように記載してください。

注2) 研修医は除いてください。

注3) 常勤とは、原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。

注4) 「専従」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいいます。

※ジェネラルマネージャーは、緩和ケアセンターの機能を管理・調整する常勤・専従、かつ院内において管理的立場の看護師であること。
※相談支援に携わる者については、相談支援センターの相談支援に携わる者との兼任および、相談支援センター内にて当該業務に従事することを可とする。ただし、この場合の専任とは、緩和ケアセンターにおける相談支援業務を中心となって担当していればよく、その就業時間の5割以上を緩和ケアセンターにおける相談支援業務に従事していることは求めない。

緩和ケアセンターの医師について

	役割	人数	診療科の内訳
例	身体症状の緩和に携わる医師	3	麻酔科2名(※内1名は緩和ケアセンター長)、消化器外科1名
	身体症状の緩和に携わる医師		
	精神症状の緩和に携わる医師		

緩和ケアセンターの看護師について(ジェネラルマネージャーおよび専門資格を有する者のみ記載してください。)

※専門資格を複数有している場合や欄に入りきらない場合は下の自由記載欄も使用してください。

	センターでの役割	常勤/非常勤	専従/専任/その他	専門資格
1	ジェネラルマネージャー	常勤	専従(8割以上)	
2	ジェネラルマネージャーではない看護師	常勤	専従(8割以上)	
3	ジェネラルマネージャーではない看護師	常勤	専従(8割以上)	
4	ジェネラルマネージャーではない看護師			
5	ジェネラルマネージャーではない看護師			
6	ジェネラルマネージャーではない看護師			
7	ジェネラルマネージャーではない看護師			

緩和ケアセンターの医師・看護師以外の診療従事者について

	職種	常勤/非常勤	専従/専任/その他	専門資格(取得している場合)
8				
9				
10				

11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				

	自由記載欄
例	ジェネラルマネージャー以外の看護師(上記リスト3番:がん看護専門看護師の他、がん性疼痛看護認定看護師資格有り)
例	事務員(上記リスト12番)
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

特定のがん種に対する集学的治療提供体制について

記載の有無 なし

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

期間: 和3年1月1日～12月31日

特定のがん種に対する集学的治療提供体制について、都道府県内で最も多くの患者を診療していることを明記し、必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。

このシートのほかに資料がある場合は、**ファイル名の頭に別紙22を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無 (あり／なし)

ファイル形式 (ワード／エクセル／パワーポイント／その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

特定のがん種

年間新入院患者数

年間新入院当該がん患者数

年間新入院患者数に占める当該がん患者の割合

年間外来当該がん患者のべ数

年間院内死亡当該がん患者数

当該がんに係る年間の手術件数

当該がんに対する年間の化学療法件数

※経口または静注による全身投与を対象とし、件数については1レジメンあたりを1件として計上する。

当該がんに係る年間の放射線治療件数

※複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1件として計上する。

人
人
%
人
人
件
件

特定のがん種

年間新入院患者数

年間新入院当該がん患者数

年間新入院患者数に占める当該がん患者の割合

年間外来当該がん患者のべ数

年間院内死亡当該がん患者数

当該がんに係る年間の手術件数

当該がんに対する年間の化学療法件数

※経口または静注による全身投与を対象とし、件数については1レジメンあたりを1件として計上する。

当該がんに係る年間の放射線治療件数

※複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1件として計上する。

人
人
%
人
人
件
件

特定のがん種

年間新入院患者数

年間新入院当該がん患者数

年間新入院患者数に占める当該がん患者の割合

年間外来当該がん患者のべ数

年間院内死亡当該がん患者数

当該がんに係る年間の手術件数

当該がんに対する年間の化学療法件数

※経口または静注による全身投与を対象とし、件数については1レジメンあたりを1件として計上する。

当該がんに係る年間の放射線治療件数

※複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1件として計上する。

人
人
%
人
人
件
件

がん診療連携拠点病院等との連携診療体制について

記載の有無

なし

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名 : 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間：令和4年9月1日時点

緊急な治療が必要な患者や合併症を持ち高度な周術期管理が必要な患者に対するがん診療連携拠点病院等と連携による診療体制について、必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙23を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

(あり／なし)

ファイル形式

(ワード／エクセル／パワーポイント／その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

【緊急な治療が必要な患者や合併症を持ち高度な周術期管理が必要な患者に対するがん診療連携拠点病院等と連携による診療体制】

特定領域がん診療連携拠点病院の人材交流について

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。	記載の有無 なし
病院名 : 福岡県済生会福岡総合病院	
時期・期間 : 令和3年1月1日～12月31日	

※他の拠点病院等との人材交流計画について記載してください。

※個人名やPHSの番号が記載されていないことをご確認ください。

	受入／派遣	期間	職種	(受入元／派遣先)医療機関名	専門分野
例	受入	令和3年4月1日～9月30日	看護師	XX病院	がん看護認定看護師
例	派遣	令和3年10月1日～12月31日	医師	YY病院	上部消化器外科
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

グループ指定の状況

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

記載の有無

なし

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

■グループ指定のがん診療連携拠点病院との定期的なカンファレンスの開催実施件数

期間: 令和3年1月1日～12月31日

■グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携と役割分担の状況

時期: 令和4年9月1日時点

	がん医療圏名	医療機関名	連携内容(がんの種類と役割分担)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

グループ間の人材交流計画について

記載の有無

なし

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名：福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間：令和3年1月1日～12月31日

※グループ指定施設間での人材交流計画について記載してください。

※個人名やPHSの番号が記載されていないことをご確認ください。

	受入／派遣	期間	(受入元／派遣先)医療機関名	専門分野
例	受入	令和3年4月1日～9月30日	XX病院	消化器外科
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

グループ指定の状況

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

記載の有無

なし

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間: 令和4年9月1日時点

	がん医療圈名	医療機関名	連携内容(がんの種類と役割分担)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

都道府県協議会の内容

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

なし

病院名: 福岡県済生会福岡総合病院

時期・期間: 令和3年4月1日～令和4年3月31日

※以下は、都道府県拠点病院への指定を希望する病院のみ記載してください。現状の把握にのみ使用し、指定の検討会では使用しません。

●令和3年度に開催した都道府県協議会について記載してください。

(1) 患者本位のがん医療を実現する等の観点から、当該都道府県における対策を強力に推進するための議論を行った。

(2) 都道府県全体のがん医療等の質の向上のために、都道府県内のどこに住んでも適切な診断や治療にスムーズにアクセスできる体制を確保すべく、以下の議論を行った。

① 地域の実状に応じて、医療機間間の連携が必要な医療等について、都道府県内の各拠点病院等及び他のがん診療を担う医療機関における役割分担を整理・明確化し、その内容を関係者間で共有するとともに広く周知した。

② 地域がん診療病院とがん診療連携拠点病院とのグループ指定の組み合わせを調整・決定した。

③ 都道府県内の拠点病院等の院内がん登録のデータやがん診療、緩和ケア、相談支援等の実績等を共有、分析、評価、公表等を行った。

各都道府県とも連携し、Quality Indicatorを積極的に利用するなど、都道府県全体のがん医療の質を向上させるための具体的な計画を立案・実行した。

院内がん登録実務者の支援を含めて都道府県内のがん関連情報収集や利活用等の推進に取り組んだ。

④ 地域における相談支援や緩和ケアの提供体制・連携体制について協議を行い、拠点病院等の間で情報共有や役割分担を含む連携体制を整備した。

⑤ 当該都道府県における特定機能病院である拠点病院等と連携し、地域におけるがん診療に従事する診療従事者の育成及び適正配置に向けた調整を行った。

⑥ 整備指針Ⅱの(3)に基づき当該都道府県における拠点病院等が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした緩和ケアに関する研修や

その他各種研修に関する計画を作成している。

⑦ 当該都道府県内の医療機関における診療、緩和ケア外来、がん相談支援センター、セカンドオピニオン、患者サロン、患者支援団体、在宅医療等への

アクセスについて情報を集約し医療機間間で共有するとともに、冊子やホームページ等でわかりやすく広報している。

⑧ 国協議会との体系的な連携体制を構築している。

⑨ 国立がん研究センターによる研修に関する情報や国協議会での協議事項が確實に都道府県内で共有・実践される体制を整備している。

⑩ 感染症のまん延や災害等の状況においても必要ながん医療を提供する体制を確保するため、当該都道府県や各がん医療圏におけるBCPについて議論を行った。

⑪ 地域における医療情報の共有の取組について、がんの分野からも検討し、体制整備に取り組んでいる。

【参考】

●令和3年4月1日～令和4年3月30日に開催した都道府県協議会の参加者について

同一都道府県内の全ての拠点病院等が参加した

都道府県庁等の行政の参加があった

拠点病院等以外の地域のがん診療を行う者の参加があった

小児がん拠点病院等の、小児がん診療を行う者の参加があった

がん患者・経験者やその家族や患者団体等の意見を代表する者の参加があった

●都道府県協議会の広報体制について

都道府県協議会についてわかりやすく広報を行うためのWebサイトがある。

Webサイトや、冊子等で、都道府県協議会で議論された内容を広報している。

WebサイトのURL

●令和3年4月1日～令和4年3月30日に開催した都道府県協議会での議論の内容について

都道府県協議会の議題や議事録等、議論の内容がわかる資料を提出すること。(ファイル名の頭に別紙28を付けること)